



今後の開催予定

JGAS2013

2013年10月2日(水)~5日(土)
東京ビックサイト

IGAS2015

2015年 10月開催予定
東京ビックサイト

IGAS2011

事業報告書

発行 印刷機材団体協議会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8(機械振興会館) (社)日本印刷産業機械工業会内
TEL: 03(3434)2656 FAX: 03(3434)0301

非売品



IGAS2011

International Graphic Arts Show
Tokyo, Japan / Sept. 16-21, 2011

事業報告書

印刷機材団体協議会



印刷機材団体協議会
会長 小森 善治

IGAS2011は「Print your Future! -印刷は環境と共に進化する-」を統一テーマに2011年9月16日(金)から9月21日(水)まで、東京ビッグサイトにて開催いたしました。

今回のIGAS2011は東日本大震災の影響により、出展者数327社(海外32社)、小間数2,740小間と前回の約60%の規模での開催となりました。しかし、6日間で73,554人ものご来場をいただきました。

このIGAS2011では、従来の入場システムを刷新し、交通系ICカードを利用した入場システムを導入しました。これにより来場者のスムーズな入場が可能となり、来場者数をリアルタイムに把握することができました。

また、主催者企画として「環境国際フォーラム」を開催しました。「サステナブル時代における紙メディアの未来」と題し、イギリスのNPO法人Two Sides代表のMartyn Eustace氏による講演と、環境問題や多様なメディアについて造詣の深い企業の方々などによるシンポジウムを行いました。聴講者の方々から非常に高い評価を頂きました。

さらに、東日本大震災復興支援企画である「報道写真ギャラリー」及び「ポイントラリー」を実施しました。特に報道写真ギャラリーでは1万人を超える方々に入場頂きました。

Japan Color認証制度は、2009年に「標準印刷認証」を開始しました。業界からの関心も高く、多くの企業様に認証取得をしていただいています。この「標準印刷認証」に加え、2011年9月より「マッチング認証」、「ブルーフ機器認証」、「ブルーフ運用認証」を追加しました。これに伴い、あらためて「標準印刷認証」の紹介を行うとともに、新しい3つの認証の概要説明

を行う目的で「Japan Color認証制度セミナー」を実施しました。多くの熱心な質問が寄せられ、関心の高さが伺えました。

主催者企画のみならず、(社)日本印刷産業連合会の主催による「印刷文化典」及び「印刷会社の視点でみた世界の電子出版状況」をテーマとした「IGAS eBookフォーラム」が開催されました。

また、全日本印刷工業組合連合会は、米国の印刷会社WILEN社社長であるダリン・ウィレン氏を招いて「全印工連フォーラム2011」を開催しました。その他、(社)日本印刷学会主催の「2011年印刷技術アジアシンポジウム」や「2011年印刷学会秋期セミナー」など多彩なセミナー、シンポジウム及びイベント等に数多くの方のご参加いただき非常に活気にあふれた展示会となりました。

会期2日目には、世界の印刷機械工業会のリーダーが集まる「グローバルプリント」の会長会議を日本が議長国となり開催しました。国際展示会のあり方や知的財産保護などについて活発な議論を行い、成果を上げることができました。

東日本大震災の影響で開催が危ぶまれた時期もありましたが、お陰さまですべてを無事、盛況裡に終了することができました。これもひとえに皆様方の格別のご支援・ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

印刷機材団体協議会では次回のJGASを2013年10月2日(水)~5日(土)までの4日間、東京ビッグサイトにて開催する予定です。

今後とも引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

■ 会長挨拶	1	■ 全印工連フォーラム	11
■ 開催概要	2	■ 2011年アジアシンポジウム	12
■ 開会式	2	■ 秋期セミナー	12
■ 主催者挨拶	3	■ IGAS eBook Forum	13
■ ご祝辞	3	■ 2011印刷文化典記念式典・懇親会	13
■ IGAS2011環境国際フォーラム	4~5	■ 節電への配慮新入場システム	14
■ GlobalPrint会議	6	■ 出展者数および小間数	15
■ 東日本大震災報道写真ギャラリー	7	■ 来場者に関するデータ	15
■ 震災復興支援ポイントラリー	7	■ 来場者アンケート	16~17
■ Japan Color認証制度	8	■ 広告、宣伝	18~21
■ 環境セミナー、環境コーナー	8	■ 出展企業一覧	22~23
■ 先進技術ゾーン	9	■ 小間図、出展者	24~27
■ イベントスケジュール	10	■ IGAS2011運営機構(主催者組織)	28



開催概要

- **名称** IGAS2011(国際総合印刷機材展) International Graphic Arts Show 2011
- **開催趣旨** 本展示会は、最新の印刷・紙工・デジタルグラフィックス関連の機材と技術を一堂に会した国際総合印刷機材展であり、現在直面するいろいろな課題へのソリューション提案、印刷産業の将来や最新技術動向が展望できる場を提供すると同時に、人材の国際的交流を図り、印刷関連業並びに関連業界の活性化や興隆に寄与することを目的とする。
- **テーマ** Print your Future! -印刷は環境と共に進化する-
- **会期** 2011年9月16日(金)～21日(水) 6日間
- **開催時間** 10:00～17:00(最終日9月21日(水)は16:00終了)
- **会場** 東京ビッグサイト(東館1～6ホール) 〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
- **出展者数** 327社
- **展示規模** 2,740小間(24,167㎡)
- **会場総面積** 約41,000 m²
- **入場料** 事前登録 1,000円 当日登録 2,000円
- **主催** 印刷機材団体協議会 (Japan Graphic Arts Suppliers Committee : JGASC)
- **後援** 経済産業省・東京都・日本貿易振興機構
社団法人 日本印刷産業連合会・一般社団法人 日本印刷学会
全国段ボール工業組合連合会・全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
財団法人 デジタルコンテンツ協会・デジタルサイネージコンソーシアム
- **出展参加国** 12ヶ国・地域
イタリア、英国、オランダ、韓国、スイス、スウェーデン、台湾、中国、ドイツ、日本、米国、ベルギー

開会式

IGAS2011の開会式が、会期初日の9月16日9時30分より開催された。経済産業省及び関連団体等からのご来賓の方々をはじめ、Global Printのメンバーであるドイツ、イギリス、中国、インドの印刷機材工業会等の代表者の出席をいただいた。

日時：2011年9月16日 9:30～10:00
場所：東京ビッグサイト北コンコース

1. 開会挨拶

印刷機材団体協議会 会長 小森 善治

2. ご祝辞

経済産業省 製造産業局長 上田 隆之様
社団法人日本印刷産業連合会 会長 猿渡 智様

3. テープカット

経済産業省 製造産業局長 上田 隆之様
社団法人日本印刷産業連合会 会長 猿渡 智様
全日本印刷工業組合連合会 会長 水上 光啓様
社団法人日本印刷技術協会 会長 浅野 健様
Global Print 副会長・ドイツ カイ・ブンテマイヤー様
英国PICON 会長 ピーター・モリス様
インドIPAMA 会長 エヌ・エス・マンク様
中国PEIAC 常務副理事長 王 徳茂様
中国印刷技術協会 名誉理事長 武 文祥様
印刷機材団体協議会 会長 小森 善治



主催者挨拶



印刷機材団体協議会 会長 小森 善治

本日は、IGAS2011開会式にご出席を賜り、誠に有難うございます。今回の東日本大震災は、私たちがかつて経験したことのない規模で大きな被害をもたらし、また国内の全産業にも多大な影響を及ぼしました。これに対し、世界中の皆様から温かい御見舞いを沢山頂戴し、心より感謝致しますと共に、東日本大震災により被災された皆様に一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今回のテーマ「Print your Future! -印刷は環境と共に進化する-」は、印刷の持つ根強い強みと多様な環境変化への調和を示し、IGAS2011では未来へ向かって進歩を続ける印刷産業を全世界に発信してまいります。また、世界の印刷機械工業会の

代表が一堂に集まるGlobal Print会議を日本が議長国となってIGAS期間中に開催することは、大変時宜に適合しており、同時に大変名誉なことでもあります。

現在のような経済環境、社会環境、自然環境、市場環境の大きなうねりの中で、印刷メディアの価値観も大きく変化していますが、印刷は「最新テクノロジーと産業界の創造力」により、これらの環境と調和し、共に進化し、明るい未来を創るすばらしい能力があります。それをIGAS2011で訴えていきたいと考えております。4年に一度の国際展示会IGASはアジア諸国など海外からも高い関心が寄せられております。アジア・太平洋地域の印刷産業をリードする日本として、IGAS2011を成功させ世界の印刷業界の発展に貢献することを確信しております。ご出席の皆様方の企業の発展・ご健勝をお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ご祝辞



経済産業省 製造産業局長 上田 隆之様

この展示会は最新の印刷技術、デジタルグラフィック関連技術を一堂に会し、課題解決のためのソリューションを提案する重要な展示会であると考えております。大震災の影響にかかわらずこのような盛大な展示会が開催されることは、ひとえに小森会長をはじめとする関係各位のご努力とご熱意の賜物であると深く敬意を表しております。

ご存知のとおり日本経済は大変な状況であります。円高、内需の不振、海外との競争、大震災など多くの困難な問題が日本経済を取り巻いており、特に大震災の復興が大変大きな課題となっております。大震災は大変不幸な出来事ではありますが、東北を中心とする地域には多くの復興需要が今後生じるものと考えており、道路・港湾などの整備や、ビル・家屋の建設、印刷機械の導入などがあります。日本経済をよくするためにこのような多くの復興需要を取

り込み、日本経済の成長に結びつけていくことが重要と考えております。また、ベトナム・タイなどのASEAN諸国を訪問して参りましたが、多くの日本企業はもとよりこのASEAN地域をはじめ世界の多くの国々が被災地の需要を取り込むべき進出を考えております。

世界の競争に勝ち抜くためには品質・納期・価格・正確さ・美しさが重要であると考えております。政府としましては、今後引き続き復興のための内需の拡大、為替問題に対する適切な対処等に努め、事業環境の整備・レベルプレイングフィールド構築に努めて参ります。皆様に置かれましても世界の競争力に勝ち抜くために引き続きご努力をお願いしたいと思います。

本展示会の成功ならびに印刷機材産業をはじめとする関係業界の一層のご繁栄、ここにお集まり頂きました皆様のますますのご健勝とご発展を祈念し私の挨拶とさせていただきます。有難うございました。



社団法人日本印刷産業連合会 会長 猿渡 智様

IGAS2011開会式にお招きいただき有り難うございます。今年は震災や原発事故、そして節電という厳しい年でありましたが、このように盛大なイベントが開催される事は、印刷業界としても勇気づけられ、また元気をいただけるように感じます。

印刷業界では、電子書籍やSNSなどの新しい媒体の登場で事業環境はこの一年だけでも、大きく変化してきました。印刷業の役割は情報化社会における多様な情報を必要な人に向けて的確に発信するという情報流通の基盤を提供することにあり、その役割は今後も変わりなく続いていくと考えております。しかし、それだけに留まることなく、市場環境の変化の中でより広い分野で社会、文化の発展に結びつく役割が求められていると思います。

印刷産業はあらゆる会社や組織を顧客にしているという特徴

を持っていますが、顧客のビジネスも多様化し複雑化しています。印刷会社はこれまでに培ってきた知識や経験を核に、顧客の信頼されるパートナーとして顧客の成功につながるようなさまざまなアイデアを求められていくことになるでしょう。印刷会社は、顧客とのパートナーシップ力、顧客維持力、市場把握力、差別化力等々を活かした、マーケティング力を付けていくことが望まれています。

これまでの「ものづくり」中心の業態から、「ソリューション産業」、あるいは「サービス産業」へのシフトも進んでいくものと思われませんが、一方では、大量複製による情報の伝達業という「ものづくり」を原点においた新しい印刷業の方向性をこの会場で見出し、新たなビジネスチャンスを生み出すように期待致します。

簡単ですが、私の挨拶とさせていただきます。有難うございました。

IGAS2011 環境国際フォーラム

「サステナブル時代における紙メディアの未来」と題して、IGAS2011環境国際フォーラムが9月18日に開催された。オープニングスピーチでは、当フォーラムの主催者であるクリーン・プリント代表理事の佐藤麻衣子氏が開催趣旨を説明した。続いて第1部として、イギリスのNPO法人Two Sides代表のマーチン・ユースタス氏による基調講演が行われた。第2部では、環境問題や多様なメディアについて造詣の深い企業の方々などによるシンポジウムが行われた。

[第1部]

佐藤 麻衣子氏 東日本大震災を含め印刷及び紙メディアをとりまく環境が激しく変化するなか、このような多くの方々にご参加いただきありがとうございます。製紙、印刷、デザイン、印刷機械、さらにIT業界及びユーザー企業等の紙メディアにおけるあらゆるサプライチェーンの方々にお集まりいただいたことは大変意義深いことだと思います。クリーン・プリントは2008年設立されたNPO法人です。このクリーン・プリントと時期を同じくし、同じ目的で設立されたイギリスのNPO法人がTwo Sidesです。私たちは、Two Sidesの活動に非常に感銘をうけ、日本の印刷業界の方々にもきちんとお伝えしたいと思いIGASにてこのような機会を設けさせていただきました。本日の話を聞いていただいて、是非、これからのアクションについて一緒に考え、明るい印刷の未来を創っていきたく存じます。



佐藤 麻衣子氏



Martyn Eustace氏

Eustace: この場に立てることを非常に光栄に思っております。また、東日本大震災以降の大変困難な状況について、イギリスを含め世界中の人々が同情の念を強く持っています。私が何よりも驚かされるのは、震災復興のスピードです。また、日本の皆さまの復興に向けた確固たる信念に感銘を受けています。

本日はTwo Sidesの活動プログラムをご紹介します。広告費の削減、新しいメディアの台頭、環境問題という状況に対して、紙メディアのユニークさ及び持続可能性をアピールして、マルチメディアの世界において印刷分野の立場を向上させなければなりません。そのためにはマーケティング及び宣伝広告費に占める紙メディアの占有率を極大化していく必要があります。そこで我々は、ヨーロッパにおいて「プリントパワー」というキャンペーンを行っています。このキャンペーンは紙メディアの有効性のキャンペーンと、サステナビリティの実証の2つから構成されています。

有効性のキャンペーンでは、メディアミックスの政策決定者に対して、紙メディアの重要性と有効性をアピールし、新聞、雑誌、ダイレクトメール、カタログ等のビジネスコミュニケーションへの活用を促進しています。具体的には、印刷の持つ「耐久性」、「権威」、「触覚を利用した読書が可能」、「すべての感覚(五感)を使った実世界の体験」、「操作不要」という特徴を積極的にアピールしています。

紙メディアのサステナビリティの実証では、紙メディアが将来的にも持続可能なコミュニケーション手段であることを実証可能な形で消費者に提供することにより、環境問題に関する一般的な誤解を解消する活動を行っています。具体的には紙メディアは環境に悪影響を及ぼすといった誤った認識や企業のペーパーレスに関するピーアールに対して、その認識を改めさせ、訂正を求める活動を行っており、その結果、謝罪し訂正を行った大企業も多くなります。

このようなプリントパワーのキャンペーンは、ヨーロッパ及びアメリカで行っており、今後オーストラリアでのキャンペーンも検討しています。

日本でプリントパワーキャンペーンがスタートしたならば、皆様は地球規模のTwo Sidesのネットワークに参加されますか？もし今何もしなければこれまでの問題に直面し続けるでしょう。しかし、アクションを起こしたならば、状況を変えることができます。ご清聴大変ありがとうございました。

開催概要

日時：9月18日(日)10時~12時45分
 場所：東京ビックサイト会議等607/608会議室
 参加人数：232人
 内容：オープニングスピーチ
 クリーン・プリント代表理事 佐藤麻衣子氏

第1部基調講演
 Two Sides代表 Martyn Eustace氏

第2部シンポジウム(パネルディスカッション)
 (株)メディア開発総研 代表取締役 菊池 実氏
 日本アイ・ピー・エム(株)スマター・シティー技術戦略担当 執行役員 岩野和生氏
 (株)バンダイ プロダクト保証部 デビュティゼネラルマネージャー 金子健児氏
 大日本印刷(株)ソーシャルイノベーション研究所 所長 亀田和宏氏
 (株)電通 電通総研メディアイノベーション研究部 研究主幹 北原利行氏
 (有)MASAMI DESIGN主宰 デザイナー 高橋正実氏

主催：クリーン・プリント、印刷機材団体協議会

NPO法人Two Sides

2008年に設立されたイギリスのNPO法人。印刷関連企業及びヨーロッパの主要な業界団体、さらに一般企業を含めた幅広い業種約300社によって構成されている。

NPO法人クリーン・プリント

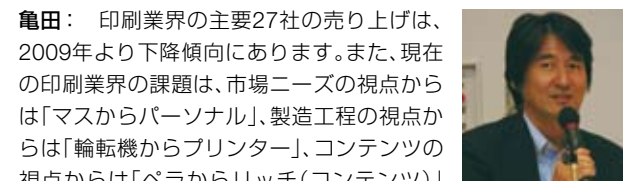
2008年に印刷関連業界の有志によって設立された日本のNPO法人。紙と印刷がクリーンで魅力的なメディアであることを未来に伝えることで豊かな社会を目指す。

[第2部]



菊池 実氏

菊池: 本日のマーチン氏の話の中には2つの大事なことがあると思いました。1つは、プリントメディアの力に関することと環境問題についてはきちんと分けて考えなければならぬということ。もう1つは、環境問題は複雑な要因が絡み合っていて単純化することは難しいということです。また、紙メディアが環境にやさしく再生可能なサステナブルな媒体であることを改めて認識しました。まずは、亀田さんの方から印刷業界の現状と課題についてお話し頂ければと思います。



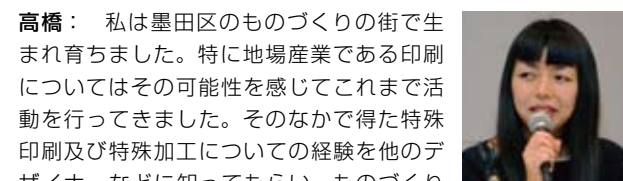
亀田 和宏氏

亀田: 印刷業界の主要27社の売り上げは、2009年より下降傾向にあります。また、現在の印刷業界の課題は、市場ニーズの視点からは「マスからパーソナル」、製造工程の視点からは「輪転機からプリンター」、コンテンツの視点からは「ペラからリッチ(コンテンツ)」と要約することができます。リッチコンテンツというのは、紙メディアだけで伝えられるものは少なくなっており、多様な表現媒体を組み合わせることの重要性を意味しています。このような課題に対して、様々なステークホルダーの方々で議論していくことが必要であると考えています。



金子 健児氏

金子: バンダイでは、玩具、模型、玩具菓子、アパレル、生活用品、カード事業などのベンディング分野など年間約7,000アイテムを販売しています。環境に関するコミュニケーション手段として、毎年、「環境冊子」や「グループCSRレポート」を発行しています。環境冊子はお客様や社員に読んでいただくために、バンダイ独自の内容と手法で発行しています。もちろんWEBでも掲載していますが、冊子の方が評判が良いです。紙メディアが減少しているという状況の中、広告活動における紙メディアの重要性を、メーカーとしてアピールしていきたいと思っています。



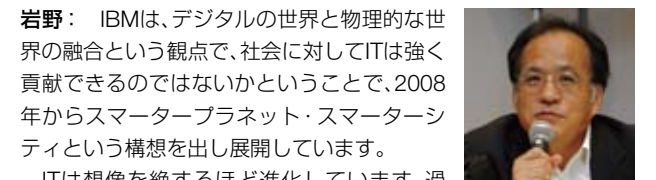
高橋 正実氏

高橋: 私は墨田区のものづくりの街で生まれ育ちました。特に地場産業である印刷についてはその可能性を感じてこれまで活動を行ってきました。そのなかで得た特殊印刷及び特殊加工についての経験を他のデザイナーなどに知ってもらい、ものづくりを応援したいという思いから「工場へ行く!!-デザインを広げる特殊印刷の現場-」を発刊しました。日本人は印刷や紙を考えることに向いている民族だと思います。過去に経験してきたことと未来の可能性から現在を捉える必要があります。今こそ、紙と電子媒体をミックスさせることにより、紙にしかできないことができる創造的な時代がやってきたと思っています。



北原 利行氏

北原: 広告会社は、あらゆるメディアを通して消費者へ広告メッセージをお伝えしています。ここでは紙媒体に関するリサーチの結果を紹介します。紙媒体の減少が指摘されていますが、スマートフォンやタブレットユーザーは雑誌購読に積極的であり、タブレット端末保有者の紙の雑誌購読数は、タブレット端末を持っていない者に比べて1.5倍です。つまり紙媒体は電子媒体と共存しており、消費者はその重要性を認識しているということです。また、雑誌広告はWEB広告よりも素材を3.4%高く見せるという調査結果があります。ブランドイメージを伝えるという観点からはこの数字は大きなインパクトがあります。新しいメディアとの組み合わせは必要ですが、既存の紙メディアの良さをまだまだ伝えきれていないと思います。



岩野 和生氏

岩野: IBMは、デジタルの世界と物理的な世界の融合という観点で、社会に対してITは強く貢献できるのではないかと考えて、2008年からスマター・プラネット・スマター・シティという構想を出し展開しています。ITは想像を絶するほど進化しています。過去50年の間に、パフォーマンスは100億倍、コストは100億分の1になりました。一方、デジタルと印刷物の世界では得意分野が顕著に異なっています。印刷物が、定着性、永続性、全体性、物質性・経験性、情報の寿命において優れている半面、デジタルは、コスト、処理性、スピード、影響波及において圧倒的に優れています。デジタルの際立った負の特徴を乗り越えるために、サイバーの世界と物理的な世界の融合が必要です。

菊池: マーチン氏の講演およびこのシンポジウムで、共生・融合・隅み分けという言葉が出てきましたが、例えば融合にも様々なものがあり1つではないと思います。また、信頼性と言うことでいえば、東日本大震災の被災地にある地元新聞社の方によって発行された新聞に対して、多くの読者の支持が集まったことが思い起こされます。

新聞も含め、紙メディアは古く伝統があり、多様なメディアがあります。そして未来も明るいと強く感じました。本日はご清聴ありがとうございました。



Global Print 東京会議

■ 世界の印刷産業機械工業会のトップがIGAS会場に集結

会期2日目の9月17日、ビッグサイト会議棟102会議室にてGlobal Print東京会議が開催された。

世界の印刷産業機械の主要生産国には国毎に工業会が組織されているが、Global Printとはこれら各国工業会の世界連合団体で2008年5月に発足した。目的は、世界の印刷機材メーカーの相互理解と連携を通じて印刷産業の発展に貢献することである。現在は、アメリカ、イギリス、イタリア、インド、スイス、スペイン、中国、ドイツ、フランス、日本の10ヶ国が参加しており、加盟している工業会の名称は下表の通りである。日本からは一般社団法人日本印刷産業機械工業会(JPMA)が会員となっている。2010年5月、JPMA小森善治会長がGlobal Print会長に選任され、現在、日本が世界の事務局となってGlobal Printの活動を推進している。

今回の会議は、Global Print事務局であるJPMAがIGAS2011に合わせて会議を招集した。まず、実務を担う事務局長会議が午前中に開催された。これには6ヶ国から13名が出席してJPMAの樋口専務理事が議長となり議事が進行された。さらに、各国工業会のトップで構成される会長会議が午後開催されたが、これには7ヶ国から18名が出席しJPMAの小森会長が議長となって議事進行を行った。

会議では、印刷需要、印刷機械、印刷機材展など各国での市場状況につき報告と意見交換が行われた。リーマンショック以降3年が経過、世界の印刷機材産業は中国、インド、ブラジルなどの新興

国での需要増に支えられて回復しつつある。しかし、ここにきて先進国では日米欧それぞれに問題をかかえて経済情勢が低迷し、先行き不透明であり、決して楽観できる状況ではない。また、インターネットや電子ブックなどの電子メディアの普及が印刷需要を圧迫して紙メディアの将来性を疑う見解が世間にある。しかし、紙メディアは電子メディアにはない特性と価値を持ち、サステナビリティの側面でも優位性があるとし、紙メディアの将来性は依然として有望であるとの見解で一致した。来年5月にドイツで開催されるdrupaでは明るい展望が出展各社から世界中の印刷業界に発信されることが望まれた。

また、世界の印刷機材メーカーにとって知的財産権の保護は非常に重要な課題であり、Global Printでは知的財産権保護への取り組みを検討してきた。その結果、今回の会議にてGlobal Print会員である各国工業会が取り組むべき活動指針を取りまとめ「知的財産権保護に関するGlobal Print決議」が採択された。

会議終了後には、国内の印刷業界代表者も交えてレセプションパーティーが都内の八芳園にて行われた。ここでは日本庭園の散策と津軽三味線の演奏で世界中からの来賓をおもてなしして、総計71名が国際交流を深めた。



Global Print会員団体

中国	PEIAC (Printing and Printing Equipment Industries Association of China)
フランス	SYMOP (French Association for Manufacturing Technologies)
ドイツ	VDMA (German Engineering Federation)
イギリス	PICON (Printing Industry Confederation)
インド	IPAMA (Indian Printing Packaging and Allied Machinery Manufacturers' Association)
イタリア	ACIMGA (Italian Manufacturers of Machinery for the Graphics, Paper and Cardboard Processing, and Converting Industry Association)
日本	JPMA (Japan Printing Machinery Association)
スペイン	Graphispac (Asociacion espanola de artes graficas, envase, embalaje, plv, embotellado yafines.)
スイス	Swissmem (The Swiss Mechanical and Electrical Engineering Industries)
アメリカ	NPES (The Association for Suppliers of Printing, Publishing and Converting Technologies)



東日本大震災復興支援企画

3月11日に発生した東日本大震災は歴史上未曾有の被害を与えた。それは印刷業界においても例外ではない。IGAS2011において復興支援を行うことは必然であり重要な意味を持つ。そこで東日本大震災復興支援企画として、テーマを「Hope for Future! - 支えあう希望、ともに創るこれから -」として、「東日本大震災報道写真ギャラリー」と「復興支援ポイントラリー」を実施した。

東日本大震災報道写真ギャラリーでは、日本経済新聞社の協力を得て、「記憶 忘れてはいけないこと」と題し、日本経済新聞社の写真部記者が震災直後から2011年7月までに撮影した写真約100点の展示とスライドショーの放映を行った。写真には、震災当時の生々しい被災の現場から、復興へ向けた逞しい人々の姿などが描写されていた。ギャラリーには1万人を超える入場者があり、入場者の多くは、あらためてこの震災の被害の大きさを認識し、復興支援に向けた思いを強くした。

ギャラリー内には募金箱を設置し、多くの方々から募金をいた

だいた。この救援募金は日本経済新聞社を通じて、日本赤十字社へ提供された。また、その内容が2011年10月12日付の日本経済新聞に掲載された。

また、2011年8月に開催された「SOPTECとうほく」にて、印刷機材団体協議会の小森会長から東北地区印刷協議会へ贈呈された義援金の報告パネルを掲示した。

復興支援ポイントラリーは、来場者の方に展示会場への入場時に使用したICカードを使って、会場内6ヶ所のラリーポイントにタッチしてもらう企画である。3ヶ所以上タッチすることにより抽選を行うことができ、1等から5等までのハズレなしで、当選した方には東北地方にちなんだ豪華賞品をプレゼントした。非常に多くの方に参加をいただき、当選賞品も好評をいただいた。また、この復興支援ポイントラリーは、復興支援という側面もあったが、来場者の回遊性を高め、一つでも多くの展示ブースを訪問していただけたという効果もあった。

■ 東日本大震災報道写真ギャラリー



開催概要
 日時：IGAS全会期中
 場所：東京ビッグサイト東館1ホール
 入場者数：10,826人
 救援募金額：46万3,820円

■ 復興支援ポイントラリー



開催概要
 日時：IGAS全会期中
 場所：東京ビッグサイト東館全ホール
 参加人数：7,292人
 当選品：トニーノ・ランボルギーニ(自転車)及びサバイバルローラバック+岩手菊政龍泉洞の水セット、岩手県短角亭赤べこカレー、佐々長醸造味噌カレー、盛岡じゃじゃ麺、盛岡冷麺、宮城ひとめぼれ、ササニシキ、青森産りんごジュース、東北地方アラカルトキャンディー

Japan Color 認証制度セミナー・特設ブース

Japan Color認証制度は、ISOに準拠し、日本のオフセット印刷における標準印刷色である枚葉印刷用ジャパンカラーにもとづいて認証を行うものである。2009年に「標準印刷認証」を開始し、2011年9月より「マッチング認証」、「ブルーフ機器認証」、「ブルーフ運用認証」が開始された。これに伴い、Japan Color認証制度セミナーを9月17日に開催した。

まず、ジャパンカラー実行委員会の茂木委員長から、ジャパンカラーの歴史、枚葉印刷用ジャパンカラー2007改訂及びジャパンカラー検討委員会の検討内容等について説明があった。

次に、(社)日本印刷産業機械工業会事務局の長沼氏から、標準印

刷認証の取得状況およびマッチング認証の概要についての説明があった。

続いてJapan Color認証ブルーフワーキング委員会副委員長の橋爪氏からブルーフ機器認証及びブルーフ運用認証の概要についての説明があった。

Japan Color認証制度を取得しようと考えておられる方を含め、多くの非常に熱心な方々の参加をいただき、当初予定していた時間を大きく超過し、多くの質問が寄せられた。

また、IGAS期間中には、Japan Color認証制度特設ブースを東館第6ホールに設置した。約1300人の来場をいただいた。

■ Japan Color 認証制度セミナー開催概要

日時：9月17日(土)13時～17時30分
 場所：東京ビックサイト会議等607/608会議室
 参加人数：216人
 内容：①ISO準拠ジャパンカラー一枚葉印刷用2011について
 ジャパンカラー検討委員会委員長
 凸版印刷(株) 情報系製造事業部品質保証本部商印・出版品質保証部品質技術
 チーム部長 茂木雅男氏
 ②標準印刷認証及びマッチング認証について
 (社)日本印刷産業機械工業会Japan Colorチーフアドバイザー 長沼 勉氏
 ③ブルーフ機器認証及びブルーフ運用認証について
 Japan Color認証ブルーフワーキング委員会副委員長
 (株)電通オンデマンドグラフィック グラフィックコーディネートセンター
 オンデマンドプランニング部 チーフ 橋爪 乾氏



環境セミナー

「印刷業界が取り組むべき環境対応とその目指すところ」と題して、9月18日に環境セミナーを開催した。講演テーマは以下のとおり。

- ①(社)日本印刷産業機械工業会が検討を進めている「印刷産業機械の温室効果ガス排出量の算定基準策定」に関する取り組みの紹介。
 - ②印刷業界の環境対応活動にメスをいれ、今後これらの成果がどのような形で表れてくるかの考察。
- 印刷産業機械メーカーからの参加者が多く、印刷産業機械としてのCO₂排出量の削減に関心が高かったことがうかがえた。



■ 環境セミナー開催概要

日時：9月18日(日)14時～16時
 場所：東京ビックサイト会議等605会議室
 参加人数：37人
 内容：第1部 印刷産業機械の温室効果ガス排出量の算定基準について
 元ISO/TC130国内委員会事務局 田尾 玄治氏
 第2部 何のために環境対応活動を行うのか？
 (社)日本印刷産業機械工業会 技術委員会 環境調査分科会委員 大貫 良子氏
 主催：(社)日本印刷産業機械工業会



環境コーナー

(社)日本印刷産業連合会、(社)日本印刷産業機械工業会、NPO法人クリーン・プリントの3団体が、環境コーナーとして共同展示を行った。サステナブル時代に対応する印刷産業に向けて各々の立場からの情報発信を行った。

各団体の展示内容は以下のとおり。

- (社)日本印刷産業連合会：グリーンプリンティング(GP)認定制度の紹介及び認定製品の展示。
 - (社)日本印刷産業機械工業会：省エネルギーに貢献するための印刷産業機械の温室効果ガス排出量の算定基準策定への取り組みの紹介。
 - NPO法人クリーン・プリント：環境に優しい印刷工程の普及と認証の取り組みの紹介。
- 印刷会社、資機材メーカーの環境担当者の来場が多かった。
- 特に、グリーンプリンティング認定、印刷産業機械のCO₂排出量削減、印刷工程の環境負荷低減に関する質問が多かった。



先進技術ゾーン

この展示はIGASの恒例となり、研究機関が持つ技術シーズと産業界のニーズを交流させる産学交流の場として国内外から高い評価を得ている。

今回は全国13の研究機関から最新の研究成果が展示された。内容としては、電子パターンや半導体薄膜の形成、有機EL素子、カラー電子ペーパー、ホログラム記録、UV硬化型ジェットインク、先進フォトリソグラフィ材料、VOCなどの環境対応、画像評

価、色評価、機械安全など、多岐にわたる研究成果がポスターや実物にて展示された。これらは印刷に使用される広範囲にわたる技術を応用、発展、深耕させたもの、または現在の印刷工程改善に直接関連する研究成果であり、一般の人が普段はあまり目にすることができないアカデミックな分野の貴重な情報として多数の来場者でにぎわった。

■ 「先進技術ゾーン」 出展研究室

小間番号	出展者詳細
E6-61S	東京電機大学 エルゴノミクスデザイン研究室
E6-62S	千葉大学大学院 融合科学研究科 北村研究室
E6-63S	産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門
E6-64S	東海大学 理学部化学科 関根嘉香研究室
E6-65S	千葉大学大学院 融合科学研究科 小関研究室
E6-66S	東京大学大学院 農学生命科学研究科 製紙科学研究室
E6-67S	千葉大学大学院 融合科学研究科 小林(裕)・青木・今泉研究室
E6-68S	東京工業大学 像情報工学研究所 半那研究室

小間番号	出展者詳細
E6-69S	千葉大学大学院 融合科学研究科 高原研究室
E6-70S	長岡技術科学大学 システム安全工学研究室
E6-71S	東京工芸大学 ディスプレイデザイン研究室 色彩画像研究室 電子画像研究室



■ デジタルパブリッシングコーナー

日本でも昨年より急速に注目を浴び始めた電子書籍。古くからある書籍は取って代わられるのではないかとという危機感を印刷・出版業界にもたらす分野でもある。今回のIGASでは電子書籍に関連する展示を特別エリアとして集中し、来場者の便宜を図った。また、会議棟では世界の電子出版事情に関する「eBook Forum」も日印産連主催にて開催された。IGASは印刷機材展であり紙メディア関連の展示が主流であったが、その中でひととき目立つ存在感を示し、電子メディアとの共存共栄を探る来場者でにぎわった。



■ 「早わかり60分ツアー」

CIP4 Japanが企画した「早わかり60分ツアー」では、業界に精通するエキスパートである相馬謙一氏および宮本泰夫氏をコンダクターとして、MISからポストプレスまでの協賛9社のブースを、イヤホンを使用したわかりやすい解説と共に案内した。このような企画はIGASでは初めてであったが、一日2回のツアーは全て定員50名が満杯という大好評を博し、4日間で延べ400名の参加者があった。



スケジュール

■ 式典、会議、フォーラム、セミナー

9月16日(金)	9:30-10:00	開会式	北コンコース	印刷機材団体協議会
	12:30-13:30	全印工連理事長会	会議棟1階(101)	全日本印刷工業組合連合会
	14:00-17:00	全印工連フォーラム 2011	会議棟6階(605~608)	全日本印刷工業組合連合会
9月17日(土)	9:00-12:30	全印工連全国事務局研修会	会議棟6階(609)	全日本印刷工業組合連合会
	10:30-12:30	全印工連 アドバイセシスプログラム 第2期募集セミナー	会議棟6階(605)	全日本印刷工業組合連合会
	10:30-12:00	Global Print 事務局長会議	会議棟1階(102)	(社)日本印刷産業機械工業会
	16:00-17:00	Global Print 会長会議		
	13:00-17:00	Japan Color 認証制度セミナー	会議棟6階(607・608)	(社)日本印刷産業機械工業会
9月18日(日)	10:00-12:30	IGAS2011 環境国際フォーラム -サステナブル時代における紙メディアの未来-	会議棟6階(607・608)	クリーン・プリント印刷機材団体協議会
	14:00-16:00	環境セミナー	会議棟6階(605)	(社)日本印刷産業機械工業会
9月19日(月)	9:00-17:40	2011年アジアシンポジウム -印刷の基盤科学技術とその多種多様な展開-	会議棟6階(609)	(社)日本印刷学会 印刷機材団体協議会
9月20日(火)	9:30-12:30 14:00-17:00	2011年秋期セミナー -クロスメディア ソリューション プロバイダーへの変革-	会議棟6階(609)	(社)日本印刷学会 印刷機材団体協議会
	13:00-15:00	全印工連 第2回教育・労務専門委員会 (全国教育・労務委員会議)	会議棟6階(605)	全日本印刷工業組合連合会
	14:45-19:30	2011年印刷文化典 記念式典・懇親会	ホテルニューオータニ	(社)日本印刷産業連合会
9月21日(水)	10:00-13:00	IGAS eBook Forum -印刷会社の視点で見た電子出版の現状と将来-	会議棟6階(607・608)	(社)日本印刷産業連合会 印刷機材団体協議会

全印工連フォーラム

全日本印刷工業組合連合会は今年最大のイベント「全印工連フォーラム2011」を9月16日(金)14時より東京ビッグサイト6Fにて開催、510名が参加した。

冒頭の開会挨拶で水上光啓会長は、「今、印刷業界の経営環境は大変厳しい状況に置かれている。従来のビジネスモデルが通用しなくなってきた。では、どうすればよいか。私は新しい価値観とは“創造”にあると常々申し上げている。これからは現在をベースに未来を考えなければ新しいビジネスモデルをつくることはできない。本日の講演会で何かきっかけをつかんでいただき、ビジネスに活かしていただきたい」と述べた。

【第1部】

全印工連メッセージでは、はじめに業態変革推進企画室による「業態変革実践プラン総集編—全印工連2012計画」について萩原誠委員長が発表し、業態変革を実践、継続、定着させるための具体的なアクションプランの策定を提案した。続いて印刷産業ビジョン研究会による、「印刷関連業界と考えるこれからの印刷産業」をテーマにした発表が行われ、花崎博己委員長による趣旨説明の後、「印刷物の減少を抑える対応」、「印刷物を伸ばす対応」、「ソリューション展開への対応」の3つのテーマについて委員会の各研究グループによる提案が行われた。

【第2部】

海外企業研究セミナーでは、WILEN社 社長ダリン・ウィレン氏が、「米国印刷会社WILEN社の成長戦略とその実態」と題して、自社の業態変革の成果と適切な経営戦略の必要性について講演した。WILEN社は米国ケーブルテレビネットワーク放送局HBOのテレビガイド誌の編集から出発して印刷業に進出した。デジタ

ル放送時代となってガイド誌が激減する中で素早い業態変革に踏み切り、現在は幅広い顧客層に事業戦略からクリエイティブのリソース、データ解析サービス、最先端の印刷サービス、一貫型フルフィルメントまでを提供するマーケティング・サービスプロバイダーとして米国の急成長企業5000に3年連続でランクインしている。ウィレン氏は、アメリカ印刷業界の現状からWILEN社の取り組みとその戦略まで、マーケティング・サービスプロバイダーとして大きく成功、躍進する米国印刷会社の実態につき講演した。

参加者は熱心に耳を傾け、質疑応答では積極的に多くの質問が出され、ウィレン氏もそれぞれに時間を掛けて丁寧に答えていた。最後に水上光啓会長からウィレン氏に、感謝の印としてプレゼントが贈呈され、フォーラムは盛況のうちに幕を閉じた。



WILEN社 社長
ダリン・ウィレン氏



全印工連業態変革推進企画室 喜瀬委員



全印工連 水上会長

2011年印刷技術アジアシンポジウム —印刷の基盤科学技術とその多種多様な展開—

2011年印刷技術アジアシンポジウムは、2010年に開催したアジアシンポジウムに次ぐ、日本印刷学会主催の2回目の国際シンポジウムである。アジア各国の商業印刷や新しい応用技術に携わる研究者が集い、国際社会、特にアジアにおける印刷技術の意味を基礎から見直すとともに、印刷技術を応用した新しい産業技術の情報を得るためのシンポジウムとなった。

9月19日、IGAS2011の会期4日目、東京ビッグサイト会議棟609号室で講演会を行った。基調講演として、タイのSuda Kiatkamjornwong氏 (Chulalongkorn University) "A quest for better textile printed qualities: from inkjet chemistry to textile surface modification"、中国のJia-Ling Pu氏 (Beijing Institute of Graphic Communication) "A view on technological

evolution and perspective of graphic communication"、韓国 のChanghee Lee氏 (Seoul National University) "Recent trends in printed electronics in Korea"、日本からは産総研の八瀬清志氏 "Flexible and printed electronics as realization of nano science and technology"、台湾のCheng-Hsiung Chen氏 (Printing Technology Research Institute) "The development and future trends of Taiwan's printing industry"、インドネシアのTaufan Hidayat氏 (Center for Pulp and Paper, Ministry of Industry) "Current situation of printing industry and fundamental research of paper in Indonesia"の6件のほか、一般口頭発表2件とポスター発表6件があった。

招待講演者は下記の通り。(敬称略)

Suda Kiatkamjornwong	タイ	チュラロンコン大学・教授
Jia-Ling Pu	中国	北京印刷学院・教授
Changhee Lee	韓国	ソウル大学・教授
八瀬清志	日本	産総研・ナノシステム研究部門長
Cheng-Hsiung Chen	台湾	印刷技術研究所・所長
Taufan Hidayat	インドネシア	紙パルプ研究所・研究員



2011年印刷学会秋期セミナー (社団法人 日本印刷学会主催)

2011年印刷学会秋期セミナーは、9月20日(火)に東京ビッグサイト会議棟609号会議室にて開催された。今回は今取り組むべき新技術の動向を「クロスメディア ソリューション プロバイダーへの変革」という総合テーマとして取り上げた。午前は「デジタルメディアの方向性」をサブテーマとして、電子書籍およびIGAS速報関連のテーマを集め、「電子書籍ビジネス最新情報アップデート」、「紙の電子化が変える印刷会社のビジネスモデル」、

「IGAS2011に見る世界の印刷と日本の印刷」の各講演が行われた。午後は「プリントデバイスの方向性」というサブテーマでデジタル印刷関連および防災のテーマを集め、「PODの現状と課題・展望」、「オフセット印刷機メーカーから見るデジタル対応」、「印刷会社における防災対策とBCP(事業継続計画)」の講演が行われた。参加者は69名で好評裡に終了した。



IGAS2011 eBook Forum —印刷会社の視点で見た電子出版の現状と将来—

(社)日本印刷産業連合会主催によるIGAS2011 eBook Forumが会期最終日の9月21日、会議棟607・608会議室にて開催された。当日は、台風15号の接近にもかかわらず定員160名の会場は満員の聴講者で溢れ、関心の高さがうかがえた。フォーラムには中国、インド、イタリア、韓国、タイの5ヶ国から電子出版ビジネスの最前線に立つ有識者を招き、各国における電子出版の状況と課題につき講演が行われ、その後東京電機大学出版局の植村八潮局長をモデレーターにパネルディスカッションが行われた。

聴講者へのアンケートの結果では、電子書籍が急激に伸びるか(2010年の77億円から2015年に1650億円)の問いに対しては、実現できるが44%、なんとも言いえないも同じ44%と、否定はしていないものの、まだ確信が持てていない意見も多く見られた。また、印刷会社が電子書籍において重要な役割を担えるかに関しては、肯定、否定、分からないがほぼ同数と意見が大きく分かれた。このように電子書籍に対する見方が分かれている一方で、電子書籍ビジネスに対する取り組み姿勢では、43%が積極的に、32%は

それなりの取り組みをしていくとしており、否定派は8%であった。まだはっきりと見通せない点もあるが、ビジネスとしての取り組みは積極的に取り組んでいくという姿勢が見受けられる。

講演者

- Mr. Hao Zhensheng, President of Chinese Academy of Press & Publication
- Mr. Satish Malhotra, Swan Press社 社長
- Mr. Gabriele Rebagliati, 中央大学文学研究科、イタリア Zoolibri社 エージェント
- Mr. Zed G.C. Park, General Manager, Docuhut
- Mr. Supree Thongpetch, Managing Director, Colour Doctor Co.,Ltd
- モデレータ: 東京電機大学出版局 局長 植村八潮



2011年印刷文化典

(社)日本印刷産業連合会が4年に一度開催する印刷文化典記念式典は、9月20日(火)午後4時30分より、東京・ホテルニューオータニ「鶴の間」で開催され、平成23年度の日印産連表彰として、山口正廣氏(共同印刷(株)相談役)、野村正道氏(宝印刷(株)顧問)、小森善治氏(小森コーポレーション代表取締役会長兼社長)の3氏に印刷文化賞、14氏に印刷功労賞、19氏に印刷振興賞、1団体に特別賞が授与された。また第10回となった環境優良工場表彰も行われ、新日本印刷(株)・羽田東京工場に経済産業大臣賞が授与され、2工場に商務情報政策局長賞、4工場に日印産連会長賞、1工場に特別賞、並びに11工場に奨励賞が授与された。

なお、式典に先立ち、午後2時45分からは「印刷産業ビジョン発表記念講演会」が行われ、慶応義塾大学大学院の池尾恭一教授が「デジタル社会のマーケティング戦略」というテーマで、また、後半は当会の印刷産業将来展望検討委員会WG座長の橋本博文氏(大日本印刷(株))が「スマートクス2020～スマート社会に貢献する印刷産業～」というテーマで講演を行った。

午後6時からの懇親会は、本年度もIGAS2011との合同懇親会形式としたが、例年とは大きく異なり、東日本大震災により甚大な被害を被った東北地方の復旧・復興を願い「絆」をテーマに掲げ、東北3県の9人の理事長・会長の方々の招待、また、震災遺児の支援の

ための寄付・募金の呼びかけ、東北地方の食材を利用したご当地料理及び、地酒のふるまいなど支援の輪を広げるための懇親会とした。

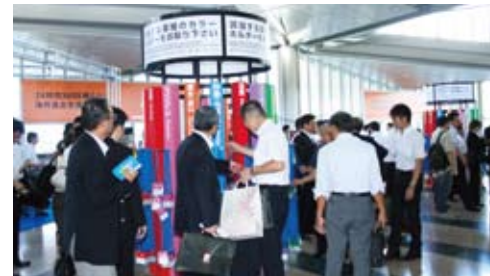
なお、今回の式典懇親会の参加者会費、寄附金、会場募金等の全額(10,000,000円)は、平成23年10月28日に日本印刷産業連合会名義で、東日本震災遺児育英資金として「桃・柿育英会」に寄付したことを報告させていただきます。ご協力ありがとうございました。



新入場システム

今回のIGASでは、日本全国で使用できる交通系ICカード (Suica、PASMO等) を利用した入場システムを導入した。これにより来場者のスムーズな入場が可能となり、来場者数をリアルタイムに把握することができた。

来場者は自身の所有する交通系ICカードを入場ゲートに設置されたICカードリーダーにタッチして入場ができ、また併設の東日本大震災復興支援のためのポイントラリーにも参加できる仕組みを設置した。



節電対策

節電対応として、通常電力使用量の15%削減を目標に次のような取り組みを行った。

■ 共用部

- ・共用部分の天井灯は、一部を除き消灯
- ・共用部の空調は、設営時及び撤去時はオフにし、開催期間中は28℃設定で稼働
- ・動く歩道は停止
- ・エスカレーターは一部停止



共用部の天井灯は消灯 (一部除く)



共用部の空調は28℃設定



動く歩道は停止



エスカレーターは一部停止



主催者展示の節電



クールビズの励行

■ 展示会場

- ・展示会場内の天井灯は、設営時及び撤去時は50%点灯、開催期間中は75%点灯
- ・展示会場内の空調は、設営時及び撤去時はオフにし、開催期間中は通常通り稼働
- ・出展者展示等におけるLED照明の採用

■ 出展社へのお願い

- ・使用電力削減の協力をお願い
- ・服装のクールビズの励行をお願い

緊急時対策

IGAS期間中の緊急時対策について、東京ビッグサイトと連携して、緊急時対策本部及び連絡網の整備、緊急時対策マニュアルの関係者への配布、防災訓練の実施等を行った。

また、会期最終日に台風15号が襲来したが、前日から関係者による対策会議を実施し、当日は来場者及び出展者への情報提供及び搬出対策等を行った。



出展者数及び小間数

	IGAS2011		IGAS2007	
	社数	小間数	社数	小間数
国内出展者	295	2588	486	4630
海外出展者	32	152	64	180
計	327	2740	550	4810

- ・海外出展企業とは、日本法人及び輸入商社等を介さずに自ら出展した海外企業。
- ・共同出展者数 2011年は32社。2007年は68社

来場者数

■ 総来場者数：日別

会期最終日の9月21日は、台風15号が関東地方を直撃して悪天候であったにもかかわらず、予想以上の多くの方に来場して頂いた。

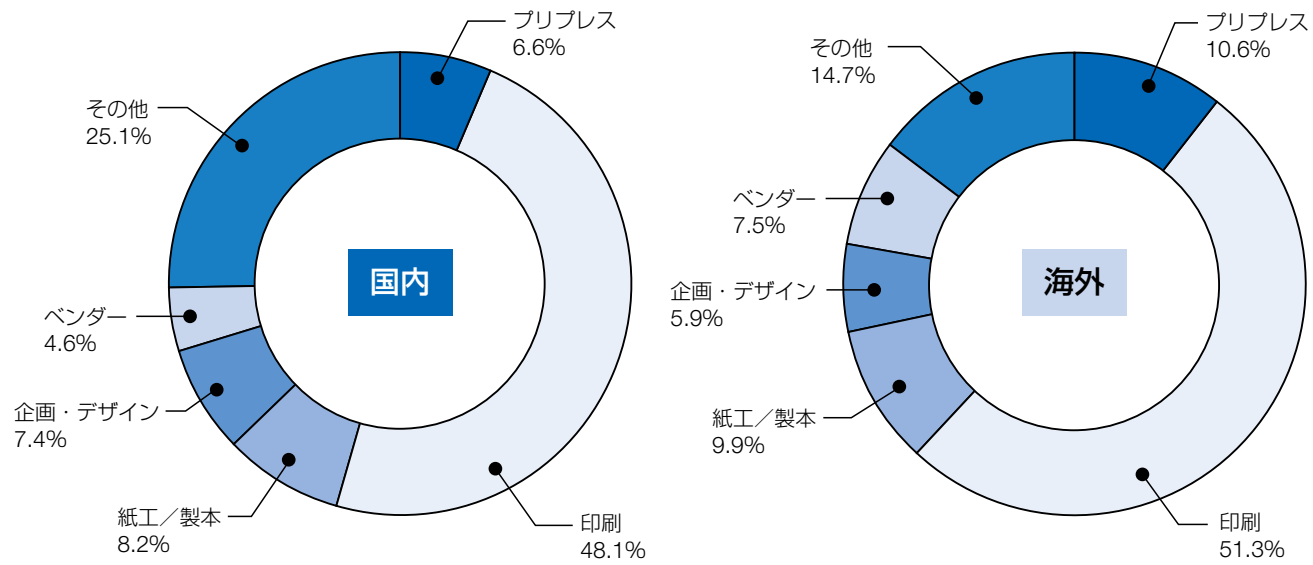
日付	天候	総来場者数	(海外来場者)
9月16日 (金)	晴れ	14,086	1,263
9月17日 (土)	晴れ	21,154	2,024
9月18日 (日)	晴れ	12,908	1,164
9月19日 (月) 祝日	晴れ	9,811	798
9月20日 (火)	雨	9,021	322
9月21日 (水)	雨	6,574	254
累計		73,554	5,825

■ 総来場者数：前回との比較

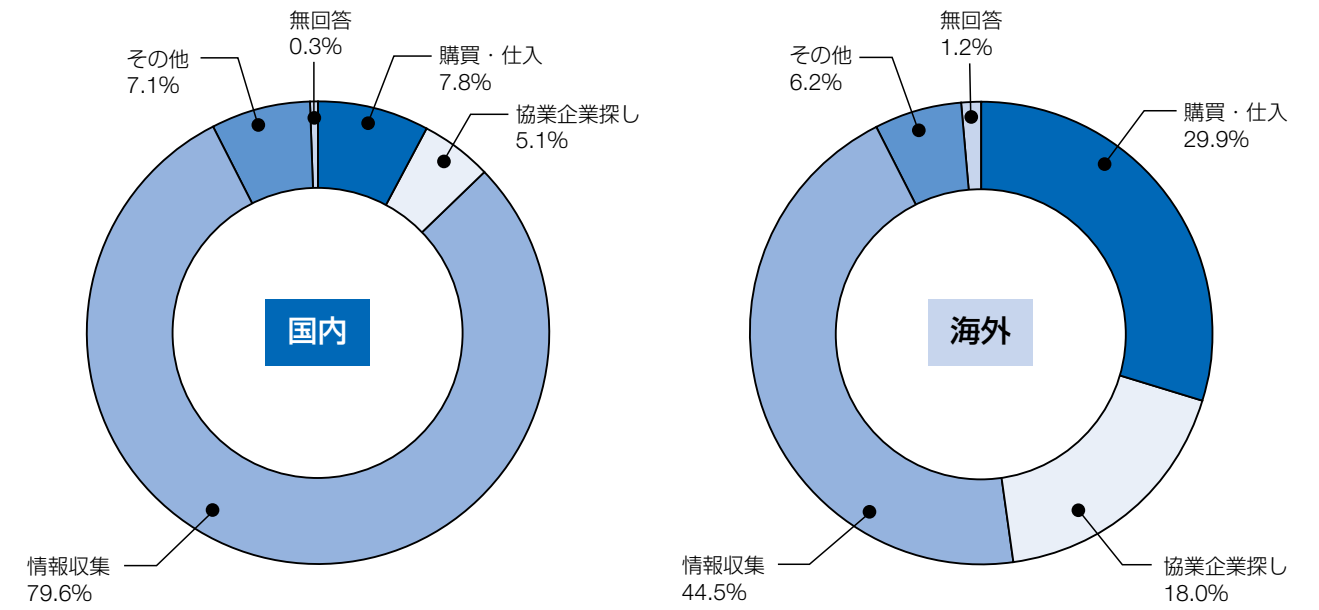
	IGAS2011		IGAS2007	
	来場者数	国数	来場者数	国数
総来場者	73,554		130,164	
(海外来場者数)	5,825	57	12,852	76
アジア	5,043	19	9,573	18
北米	153	2	412	2
中南米	64	5	529	10
欧州 (ロシア含む)	424	19	1,794	28
オセアニア	39	2	274	4
中東	91	8	239	10
アフリカ	11	2	12	4
不明	0	0	19	0

来場者アンケート

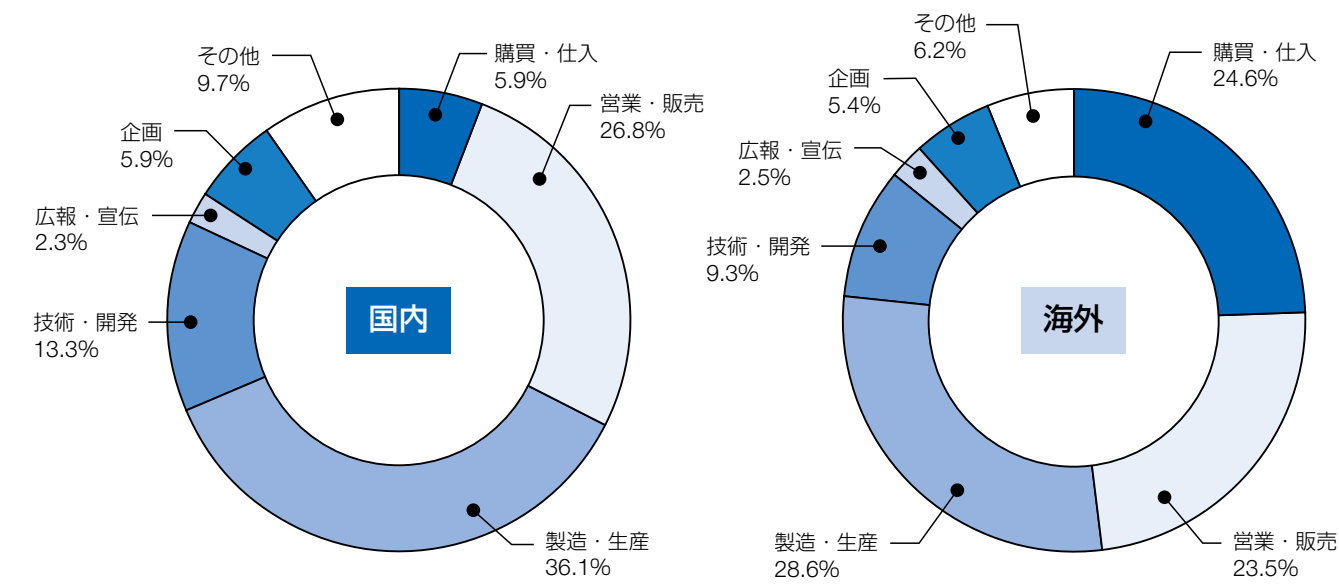
来場者の業種



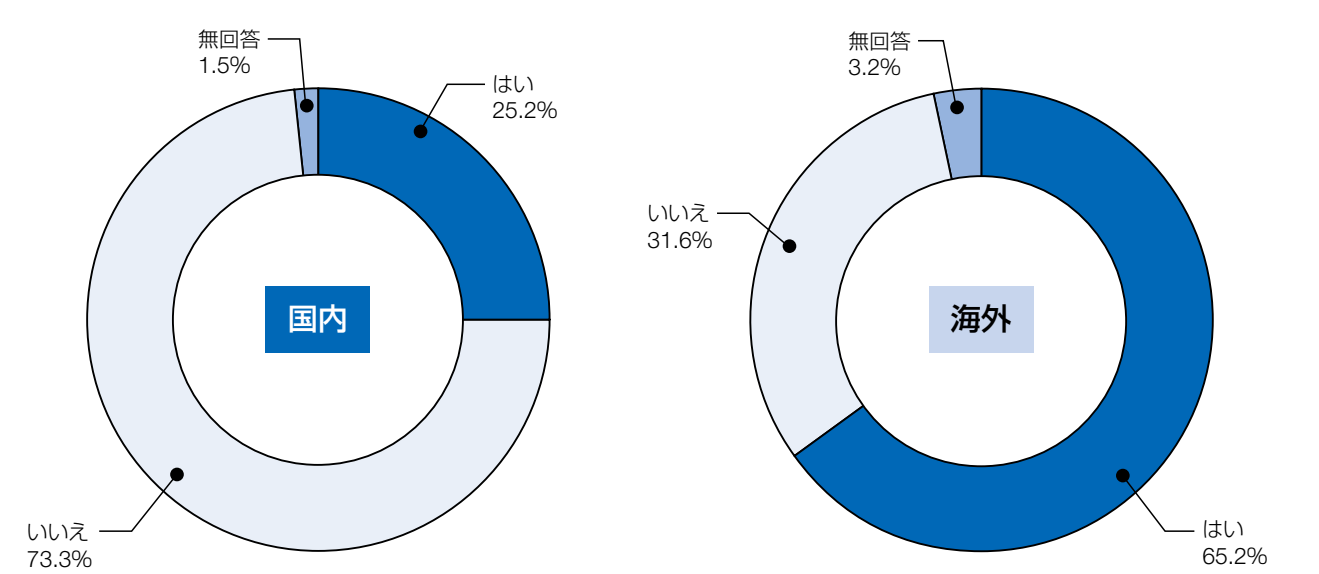
来場の目的



来場者の職種



購買決定権の有無



※購買決定権がある来場者とは、経営者・購買責任者等。

広告宣伝

■ 新聞・雑誌

- ・ 広告掲載
 - 2011年9月 8日 日経産業新聞
 - 2011年9月16日 日刊工業新聞
 - その他、業界新聞、業界雑誌及び諸団体機関紙等への広告掲載。
- ・ 記事掲載
 - 2011年9月 8日 日経産業新聞
 - 2011年9月 8日 日経エコロジー
 - 2011年9月12日 日本経済新聞(夕刊)
 - 2011年9月14日 日刊工業新聞
 - 2011年9月15日 Fuji Sankei Business i
 - 2011年9月16日 日経産業新聞
 - 2011年9月16日 日刊工業新聞
 - 2011年9月17日 Fuji Sankei Business i
 - その他、印刷新報、日本印刷新聞、印刷タイムス、月刊プリテックステージ、PACK&BOX、印刷情報、印刷ジャーナル、日本事務機新聞、オール印刷、ラベル新聞、新聞之新聞、紙業新聞、包装タイムス、情報新聞、文化通信、ビジネスマシンニュース、ゴム報知新聞、ゴムタイムス、板紙・段ボール新聞等



■ WEB

- ・ 記事掲載
 - Excite、gooビジネスEX、Infoseek、asahi.com、@nifty ビジネス、楽天woman、ダイヤモンドメディア、RBB TODAY、マピオンニュース、mediajam、JChere中国ニュース、Biz-Insight等

■ IGAS2011ホームページ

http://www.igas-tokyo.jp

開催概要、出展者一覧、会場案内図、イベント・セミナー告知、出展者及び報道関係者へのお知らせ等を掲載。当ホームページにて、出展募集、入場券予約、セミナー受講受付等を実施。



ホームページ

■ 印刷物

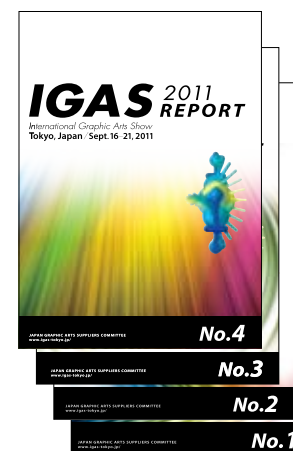
- ・ IGAS2011ポスター
- ・ 入場招待券
 - 開催概要、入場登録手順、会場への交通案内及びアンケート掲載。入場時には、このアンケートに必要事項を記入し、切り離したうえで回収箱に投入。
- ・ IGASレポート
 - 開催概要、イベント紹介、東京観光名所案内及び出展企業一覧等掲載。
 - 4回発行。事前に無料配布
- ・ 公式カタログ
 - 開催概要、主催者組織、イベント紹介、出展企業一覧、会場見取り図及び企業広告等掲載。和英合冊。会場にて無料配布。
- ・ 会場案内
 - 出展企業、出展ブース案内図及び企業広告等掲載。和英合冊。会場にて無料配布。
- ・ デイリーニュース(LIVE NEWS)
 - 開催期間中のイベント記事及び企業広告等掲載。会期中5回発行。和英別冊。会場にて無料配布。



会場案内



公式ポスター



IGASレポート



デイリーニュース



公式カタログ



招待券

■ 動画撮影・配信サービス

事前もしくは会期中に、出展者のPR動画を撮影し、IGAS2011ホームページでバナー広告とともに配信するサービス。このサービスに申込をいただいた出展者様には好評をいただいた。

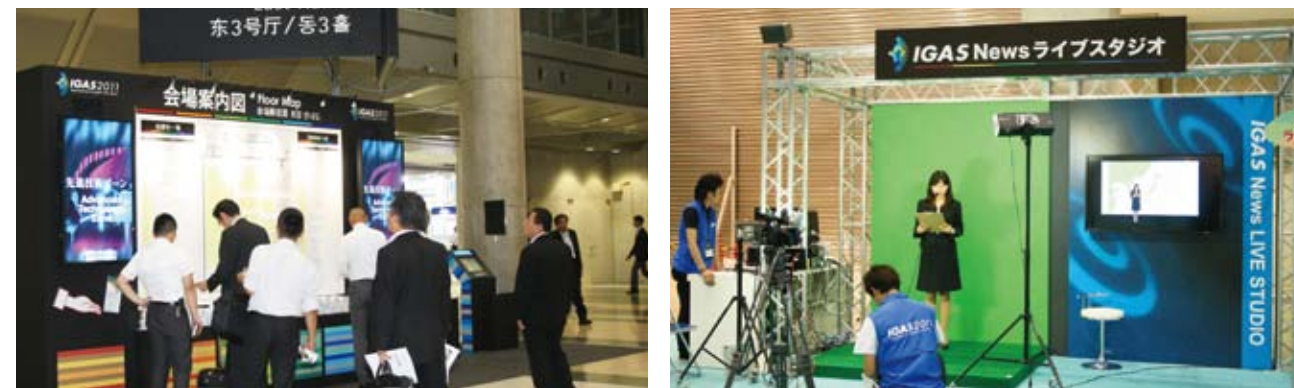


進化し続ける現像レスCTPシステム - Agfa Graphics N.V.
 ドライフוג加温システム AirAKI(R) (エアアキ) - 株式会社いけうち
 White Paper Factory - ビツニーポウズジャパン株式会社
 3Dメディア等のディスプレイツールのご紹介 - 株式会社インターコスモス
 濃度自動補正機能搭載Jカラーシステム - アイマー・プランニング株式会社
 KOMORI Solutions - 株式会社小森コーポレーション
 A全判高速オフセット8色印刷機 RYOBI 928P (反転装置付) LED-UV - リョービ株式会社
 品質と付加価値のソリューション - 広瀬鉄工株式会社
 ウェノパッケージソリューション - ウェノ株式会社
 kodak Prosper 1000 プレス - コダック株式会社
 グルモニタ GM6600 - コレコ株式会社
 アルバム製本機「フォトマウントF32」 - スーパーファックスインターナショナル株式会社
 高速ブランキングシステム MASTER BLANKER - 株式会社シザック
 鞍掛け製本システムDBMI Saddle System - 株式会社デュプロ
 PERFECTA社製 高速断裁機 115TS - ケイズカンパニー株式会社
 Jet Press 720 - 富士フイルムグラフィックシステムズ株式会社
 インクジェット本紙校正システム PROOF MASTER - 大日精化工業株式会社
 ColorEdge CG275W / ColorNavigator Ver.6 - 株式会社ナナオ

■ デジタルサイネージ

メインゲート、ガレリア6ヶ所、ホール1・4ゲート及び3.6ゲートに設置。IGAS2011テーマ、開催概要、セミナー・イベント告知、節電のお願い等を配信。

また、1時間に1回、5分程度のニュースを生放送した。特に最終日の台風情報に関する放送は、多くの来場者の注目を集めた。



■ 出展者検索システム

会場内12ヶ所に検索端末を設置。出展企業、出展ブース位置、ビックサイト内施設、ビックサイト周辺施設及び交通機関等が検索可能。多くの来場者の方にご利用いただいた。



■ 海外メディアカンファレンス

海外メディアカンファレンスを2011年7月28日～29日に開催した。IGAS2011をアピールし報道してもらう目的で、アジア地区を中心とした各国の海外記者を招待した。

1日目はIGAS2011の紹介、主な出展企業の製品紹介等を行った。2日目は、富士ゼロックスお客様価値創造センター、新聞博物館及びFISデジタルプロダクションセンターの見学を行った。

参加メディア：6ヶ国9人

PEIAC(中国)、中日韓経済発展協会(中国)、Graphic Arts Association Bulletin(香港)、Graphic World Monthly(韓国)、The Printing Times(韓国)、Printer's Magazine(台湾)、Philippine Printer(フィリピン)、Indian Printer & Publisher(インド)、Australian Printer(オーストラリア)



■ 国際展示会での出展・来場誘致活動

drupa2008、China Print2009、IpeX2010、Print China2011にて、IGASへの出展及び来場のためのPR活動を実施した。

あ	
(株)アート・ワタナベ	E3-21
アイグラフィックス(株)	E2-41
IGT Testing Systems	E4-30
IPF(株)	E1-28
アイマー・ブランニング(株)	E6-4
アキヤインターナショナル(株)	E6-17
Agfa Graphics N.V.	E4-2
アコ・ブランド・ジャパン(株)	E1-7
(株)浅野研究所	E3-25
旭化成イーマテリアルズ(株)	E5-31
旭マシナリー(株)	E1-15
AJUHITEK INC.	E5-25
(株)アスコ	E6-53S
(株)アフィット	E5-14
アラム(株)	E5-51
(株)アルファー技研	E3-28
アンリマシナリー(株)	E1-32
イー・エフ・アイ(株)	E4-4-3
イーステック(株)	E1-21
ERO s. r. l.	E1-38
(株)いけうち	E6-6
Isaberg Rapid AB	E4-18
(株)一誠堂	E6-19
イトーテック(株)	E2-34
(株)イリス	E5-6
岩井通商(株)	E1-22
岩崎鉄工(株)	E3-37
(株)いわはし	E2-22
NPO法人 印刷OEM研究会	E1-63S
(株)インターコスモス	E6-11
(株)インターテック	E3-32
ウエノ(株)	E2-20
ウエブテック(株)	E2-26
浮田工業(株)	E2-21
ウシオ電機(株)	E4-13
(株)ウチダテクノ	E1-10
(有)内田マシナリー商会	E2-25
内田洋行グローバルリミテッド	E1-10
Erhardt+Leimer GmbH	E5-56
エアハルト ライマー ジャパン(株)	E5-56
(株)エイシス	E3-23
エイワ機工(株)	E1-43
(株)エーディーエステック	E5-17-1
(株)エスケイ セールズ	E6-8
(株)エス・ケイ・ワイ	E5-46
エスコグラフィックス(株)	E3-3
X-Rite Incorporated	E5-9
(株)N.ジェン	E6-54S
NPES	E6-84S
エプソン販売(株)	E4-4
(株)エム・エル・シー	E5-45
(株)エムエルシー・テック	E5-45
(株)エムシーケー	E4-29
大阪府 商工労働部	E6-83S
(株)大床製作所	E3-22
(株)大西機械	E2-28
(株)尾裕製作所	E2-10
オリオン機械(株)	E5-43

(株)恩田製作所	E3-38
か	
カーディナル(株)	E1-26
(株)勝田製作所	E2-38
桂川電機(株)	E5-7
(株)加貫ローラ製作所	E3-35
ガテリウス(株)	E2-23
兼房(株)	E3-17
加陽印刷(株)	E3-20-1
(株)カラーステーション	E3-28
Colorific ink	E4-23
環境コーナー	E1-71S
(株)木田鉄工所	E6-4
(株)キトー	E1-46
(株)きもと	E5-4
キャノンファインテック(株)	E1-41
キャノンマーケティングジャパン(株)	E2-2
(株)キングコーポレーション	E2-16
(株)錦精社	E3-26
(株)金陽社	E3-20
クオード・テック日本支店	E2-40
(株)工藤鉄工所	E2-33
久保井インキ(株)	E3-7
倉敷紡績(株)	E5-23
グラバックジャパン(株)	E5-52
クルツジャパン(株)	E1-27
グローバル プリント	E6-86S
(株)クロスリンク・パシフィック	E6-18-1
(株)ケイ・ジー・ケイ	E1-45
ケイズカンパニー(株)	E1-28
(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン	E1-29
KK ENTERPRISE CO., LTD.	E4-21
(株)江東錦精社	E3-8
(株)光文堂	E3-41
光陽化学工業(株)	E5-19
互応化学工業(株)	E6-4
(株)ゴス グラフィック システムズ ジャパン	E6-18
(株)コスモサウンド	E1-51
(株)コスモテック	E3-36
コダック(株)	E1-2
コニカミナルタビジネスソリューションズ(株)	E1-1
(株)此花	E2-28
(株)コムテックス	E4-12
(株)小森コーポレーション	E3-1
コンチテック エラストマー・コーティングス GmbH	E2-19
さ	
(株)サインタック	E5-17
(株)桜井グラフィックシステムズ	E2-1
(株)笹岡工業	E2-27
(株)サム技研II	E5-44
サンエンチニアリング(株)	E1-20
三起機械(株)	E3-13
産業技術総合研究所 環境管理技術 研究部門	E6-63S
(有)三光	E6-9
(株)サンライズカンパニー	E6-15

(株)サンワコーケン	E2-36
三和製作(株)	E1-5
Xi'an Xinda Machinery Co., Ltd.	E4-15
(株)ジーイー企画センター	E3-31
(株)GSユアサ	E5-22
GMGジャパン(株)	E2-12
CGSJapan(株)	E5-53
四維創新材料股份有限公司	E4-22
(株)ジーティービー	E1-19
(株)シード	E5-50
JAY ENTERPRISES, LIMITED	E1-34
(株)ジェー・フィルズ	E5-21
ジェーピーイー(株)	E3-27
ジェットグラフ(株)	E6-13
(株)ジェビック	E1-32
(株)志機	E6-55S
ジクス(株)	E5-47
CIP4	E1-61S
シトマ ジャパン(株)	E4-9
篠田商事(株)	E5-38
(株)芝橋	E5-23
島津システムソリューションズ(株)	E4-10
Xiamen Inch Films Co., Ltd.	E4-16
Japan Color認証制度	E6-88S
Shanghai UPG International Trading Co., Ltd.	E4-17
十条ケミカル(株)	E3-11
(有)ジョイナップコーポレーション	E1-35
(株)正栄機械製作所	E2-4
(株)ショーワ	E1-9
スーパーファックスインターナショナル(株)	E5-16
(株)須賀製作所	E1-17
スガツネ工業(株)	E4-26
スキット(株)	E5-20
スターティアラボ(株)	E6-52S
(株)セイコーアイ・インフォテック	E5-18
(株)セイコーアドバンス	E3-24
セーレン(株)	E5-11
(株)妹尾製作所	E1-11
全日本印刷工業組合連合会	E6-81S

た	
大通機械販売(株)	E1-36
大日精化工業(株)	E5-4
ダイニック(株)	E5-57
大日本スクリーン製造(株)	E3-2
(株)太陽機械製作所	E2-37
(株)タカノ機械製作所	E5-24
(株)タカラ製作所	E1-11
タックエンジニアリング(株)	E6-4
田中産業(株)	E2-8
千葉大学大学院 融合科学研究科	E6-65S
画像マテリアルコース 小関研究室	
千葉大学大学院 融合科学研究科	E6-67S
工学部 画像科学科	
小林(裕)・青木・今泉研究室	
千葉大学大学院 融合科学研究科	E6-69S
画像マテリアルコース 高原研究室	

千葉大学大学院 融合科学研究科	E6-62S
情報科学専攻 北村研究室	
(株)中和	E5-29
(株)塚谷刃物製作所	E2-35
ツジカワ(株)	E5-10
テイ・インターナショナル(株)	E2-14
DICグラフィックス(株)	E5-36
(株)T & K TOKA	E5-28
DKSHジャパン(株)	E1-6
(株)TGM	E5-12
(株)ティーディーエス	E6-22
(株)テイク	E4-31
テクトランス・アジアパシフィック・リミテッド	E3-18
テクノロール(株)	E3-16
テクノバリューチェーンジャパン(株)	E2-6
(有)テシコン	E3-15
(有)デジタルブランニングワークコア	E5-55
(有)デュプリン・ジャパン・リミテッド	E6-20
(株)デュプロ	E5-2
デュボン(株)	E2-24
(株)TOO	E6-23
(有)TOOV	E5-13-1
東海大学理学部化学科 関根嘉香研究室	E6-64S
東京印刷機材トレーディング(株)	E2-15
(株)東京機械製作所	E1-3
東京工業大学 像情報工学研究所	E6-68S
半那研究室	
東京工芸大学	E6-71S
(株)東京製作所	E5-41
東京大学大学院農学生命科学研究科	E6-66S
生物材料科学専攻製紙科学研究室	
東京電機大学 エルゴノミクスデザイン研究室	E6-61S
東邦精機(株)	E3-39
東洋インキ(株)	E2-11
(株)東洋化学商会	E5-37
東洋紡績(株)	E4-25
東レ(株)	E5-6
(株)富田技研	E2-5
富博産業(株)	E2-30
都立中央・城北職業能力開発センター／	E1-64S
東京障害者職業能力開発校	
トレスジャパン(株)	E3-32
DONGGUAN HUAKANG	E6-12-1
ADHESIVE FACTORY	

な	
永井機械(株)	E1-11
長岡技術科学大学 システム安全工学研究室	E6-70S
(株)ナカタニ	E5-43
(有)ナガノ機械	E6-7
(株)ナナオ	E5-48
(株)ニクニ	E1-12
(株)西岡製作所	E2-32
ニッカ(株)	E5-35
(株)日研化学研究所	E5-8
日光マシナリー(株)	E2-7
ニッタ(株)	E5-59
荷札屋本舗	E1-25
(社)日本印刷産業連合会	E6-82S

日本オフィスラミネーター(株)	E2-39
(株)日本紙工機械グループ	E1-40
日本製図器工業(株)	E3-40-E6-12
一般社団法人日本WPA事務局(JWPA)	E5-6
日本トレルボグシーリングソリューションズ(株)	E6-16
日本ヒューレット・パッカート(株)	E4-5
学校法人日本プリンティングアカデミー	E1-62S
日本平版機材(株)	E3-34
日本ポールドウィン(株)	E2-13
日本欄置工業(株)	E2-17
(株)ニレコ	E5-27
ネクサス(株)	E1-30-1
は	
PERFECTA	E1-28
ハイデルベルグ・ジャパン(株)	E6-1
Haosheng Printing Machinery Co., Ltd.	E6-5
(有)パシフィック化学	E3-19
ハッテン コーポレーション	E2-7
浜松ホトニクス(株)	E3-25-1
(株)帆風	E4-27
(株)ピーアンドエフ	E5-26
ビー・エス・シー(株)	E5-58
ビーエステイ日本(株)	E6-21
(株)ビーエヌテクノロジ	E1-37
ビエロジャパン(株)	E3-10
ビービーエム(株)	E2-42
(株)ビクトリコ	E5-33
ピツニーボウズジャパン(株)	E4-6
広瀬鉄工(株)	E6-4
フォーレックス(株)	E5-42
Photobook Technology PBT Sagl	E3-10
フォルボ・ジークリング・ジャパン(株)	E3-30
福田刃物工業(株)	E6-10
富士機械(株)	E2-32
藤倉ゴム工業(株)	E3-9
富士通(株)	E4-24
富士フィルム(株)	E5-1-E6-51S
富士フィルムグラフィックシステムズ(株)	E5-1
富士フィルム シンプルプロダクツ(株)	E5-1
フジブラ(株)	E4-32
富士油圧精機(株)	E5-56-1
府中紙工(株)	E1-11
PLUS ALPHA ENTERPRISE CO., LTD.	E4-21
(株)プリンテックインターナショナル	E5-40
(有)プリントシティ	E4-20
(株)プリントバック	E5-34
(株)プロスパークリエイティブ	E4-4-2
Beijing Kangde Xin Composite	E4-11
Material Co., Ltd.	
Beijing Shengli Weiye Printing Machinery Co., Ltd.	E4-14
Printing Equipment Industries Association of China	E6-87S
平和機械(株)	E2-18
ベッカーエアータクノ(株)	E5-39
PETRATTO srl	E1-21
ヘル・グラビア・ジャパン(株)	E6-14
(株)ヘルバック	E6-4

ヘレウス(株)	E4-4-1
方正(株)	E5-30
HOYA CANDEO OPTRONICS(株)	E5-13
(株)ホッカツ	E5-6
ホリゾンインターナショナル(株)	E2-3
(株)堀鉄工所	E4-28
ホログラムワークス(株)	E5-49

ま	
(株)マイクロ・テクニカ	E1-23
(株)マイテック	E2-29
(株)真砂商会	E3-33
Masterwork Machinery Co., Ltd.	E4-8
(株)丸昌	E1-44
(株)ミタニ	E3-14
三菱製紙(株)	E5-5
南精機(株)	E3-6
美濃商事(株)	E1-18
(株)ミマキエンジニアリング	E4-4-3
(株)ミヤコシ	E6-3
(株)ミューテック	E3-4
ミューラー・マルティニ ジャパン(株)	E5-3
Mireco Co., Ltd.	E5-10-1
ムグンファ印刷	E6-22-1
(株)ムサシ	E5-57
村田金箔グループ	E1-24
(株)明治ゴム化成	E1-42
明和ゴム工業(株)	E3-12
女神インキ工業(株)	E5-15
Metalstic Co.	E4-19
(株)メッセ・テュッセルドルフ・ジャパン	E6-85S
(有)メニ・テック	E1-30
(株)モトヤ	E4-7
(株)モリサワ	E4-3

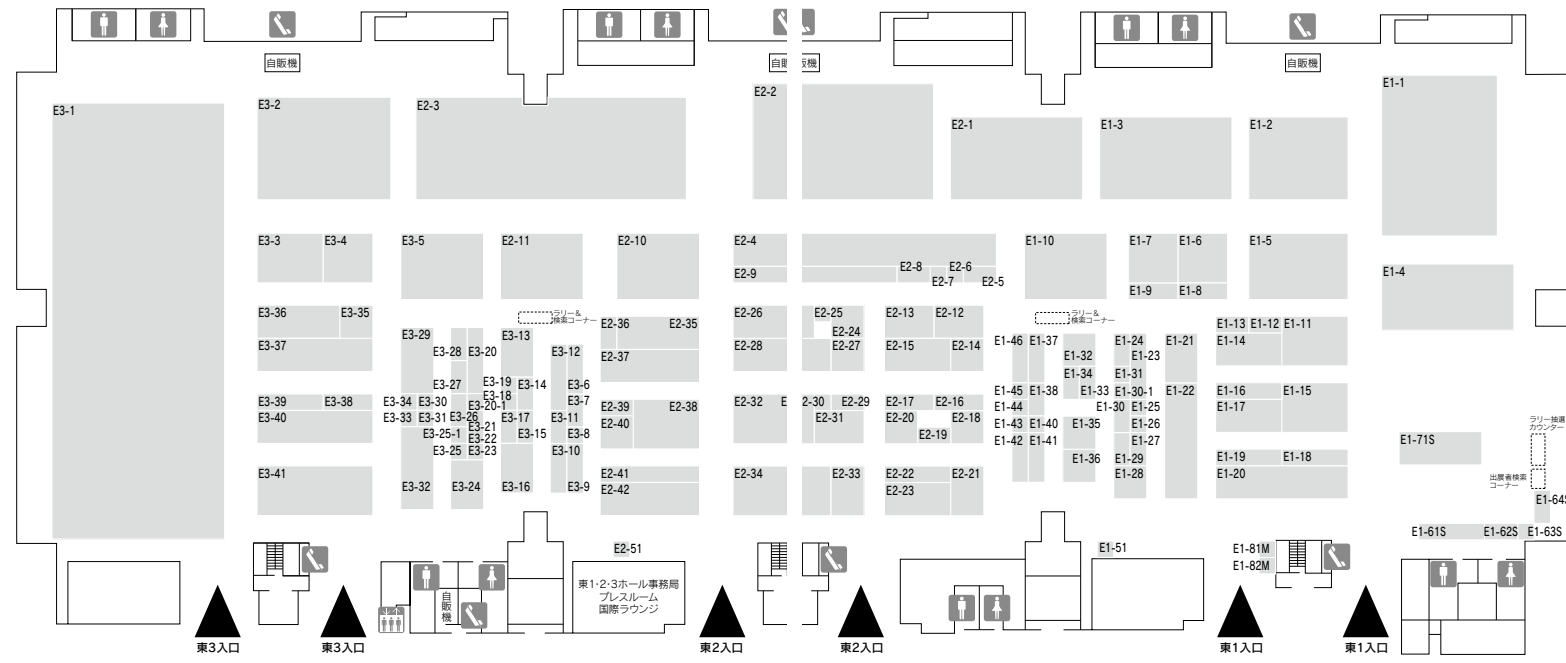
や	
山田機械工業(株)	E1-16
(株)山田紙工	E1-8
(株)ユーボン	E1-31
(株)ユナイテッド・カラー・システムズ	E5-14-1
Univacco Technology Inc.	E1-13
(株)ヨシダ機材	E1-33
芳野マシナリー(株)	E1-4

ら	
(株)ラシュラン	E2-51
(株)リコー	E6-2
リコージャパン(株)	E6-2
理想科学工業(株)	E5-32
(株)両毛システムズ	E5-54
リョービ(株)	E4-1
リンテック(株)	E3-5
(株)レザック	E1-14
ローランド ティー.ジー.(株)	E3-29
ロハスプリント(株)	E2-9

わ	
ワコン(株)	E6-12-2
渡辺通商(株)	E2-31

小間番号 Booth No.	出展者 Exhibitors
-------------------	-------------------

東1ホール East Hall 1	
E1-1	コニカミルタビジネスソリューションズ(株) Konica Minolta Business Technologies, Inc.
E1-2	コダック(株) Kodak Japan Ltd.
E1-3	(株)東京機械製作所 TOKYO KIKAI SEISAKUSHO, LTD.
E1-4	芳野マシンナリー(株) YOSHINO MACHINERY CO., LTD.
E1-5	三和製作(株) SANWA MFG. CO., LTD.
E1-6	DKSHジャパン(株) DKSH Japan K.K.
E1-7	アコ・ブランド・ジャパン(株) ACCO Brands Japan K.K.
E1-8	(株)山田紙工 YAMADA SHIKOH CO., LTD.
E1-9	(株)ショーワ SHOWA CO., LTD.
E1-10	(株)ウチダテクノ UCHIDA TECHNO CO., LTD.
E1-10	内田洋行グローバルリミテッド UCHIDA YOKO GLOBAL LIMITED
E1-11	永井機械(株) Nagai Machinery Co., Ltd.
E1-11	府中紙工(株) Fuchu Shiko Co., Ltd.
E1-11	(株)妹尾製作所 Senoo Seisakusho
E1-11	(株)タカラ製作所 Takara Seisakusho
E1-12	(株)ニクニ Nikuni Co., Ltd.
E1-13	Univacco Technology Inc. Univacco Technology Inc.
E1-14	(株)レザック LASERCK CORPORATION
E1-15	旭マシンナリー(株) ASAHI MACHINERY LIMITED
E1-16	山田機械工業(株) YAMADA KIKAI KOGYO CO., LTD.
E1-17	(株)須賀製作所 SUGA MANUFACTURING CO., LTD.
E1-18	美濃商事(株) MINO SHOJI CO., LTD.
E1-19	(株)ジーティービー GTB CO., LTD.
E1-20	サンエンチニアリング(株) SUN Engineering Co., Ltd.
E1-21	PETRATTO srl PETRATTO srl
E1-21	イーステック(株) EASTECH CORPORATION
E1-22	岩井通商(株) IWAI TSUSHO K.K.
E1-23	(株)マイクロ・テクニカ Micro Technica Co., Ltd.
E1-24	村田金箔グループ MURATA KIMPAKU CO., LTD.
E1-25	荷札屋本舗 nifudayahonpo
E1-26	カーディナル(株) CARDINAL CO., LTD.
E1-27	クルツジャパン(株) KURZ JAPAN LTD.
E1-28	ケイズカンパニー(株) K's Company Ltd.
E1-28	IPF(株) IPF Inc.
E1-28	PERFECTA PERFECTA
E1-29	(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン KNF JAPAN CO., LTD.
E1-30	(有)メニ・テック MENITEC CO., LTD.
E1-30-1	ネクサス(株) NEXUS CO., LTD.
E1-31	(株)ユーボン YUBON CO., LTD.
E1-32	(株)ジェビック Jepic Co., Ltd.
E1-32	アンリマシンナリー(株) Anri machinery Co., Ltd.
E1-33	(株)ヨシダ機材 YOSHIDA KIZAI CO., LTD.
E1-34	JAY ENTERPRISES, LIMITED JAY ENTERPRISES, LIMITED
E1-35	(有)ジョイナップコーポレーション JOINUP CORPORATION
E1-36	大通機械販売(株) DAITSU MACHINERY CO., LTD.
E1-37	(株)ビーエヌテクノロジ BN TECHNOLOGY CORPORATION
E1-38	ERO s. r. l. ERO s. r. l.
E1-40	(株)日本紙工機械グループ Japan Paper Converting Machinery Group
E1-41	キャノンフラインテック(株) CANON FINETECH INC.
E1-42	(株)明治ゴム化成 MEIJI RUBBER & CHEMICAL CO., LTD.
E1-43	エイワ機工(株) Eiwa Machinery Co., Ltd.
E1-44	(株)丸昌 MARUSHO CO., LTD.
E1-45	(株)ケイ・ジー・ケイ KGK INC.
E1-46	(株)キトー KITO CORPORATION
E1-51	(株)コスモサウンド COSMO SOUND CO., LTD.
E1-61S	CIP4 CIP4
E1-62S	学校法人日本プリンティングアカデミー Japan Printing Academy
E1-63S	NPO法人印刷OEM研究会 Society for the Study of Printing
E1-64S	都立中央・城北職業能力開発センター/東京障害者職業能力開発校 Tokyo Metropolitan Chuo-Johoku Vocational Skills Development Center / Tokyo Vocational Ability Development School for the Disabled
E1-71S	環境コーナー Environment Area
E1-81M	日報出版(株) NIPPON PUBLISHING CO., LTD.
E1-82M	(株)日本印刷新聞社 JAPAN PRINTING NEWS CO., LTD.



東3ホール East Hall 3

東2ホール East Hall 2

東1ホール East Hall 1

小間番号 Booth No.	出展者 Exhibitors
-------------------	-------------------

E2-7	日光マシンナリー(株) Nikko Machinery Ltd.
E2-7	ハッテン コーポレーション HATTEN CORPORATION
E2-8	田中産業(株) TANAKA SANGYO CO., LTD.
E2-9	ロハスプリント(株) Lohas Print, Inc.
E2-10	(株)尾裕製作所 OSAKO & CO., LTD.
E2-10	(株)尾裕製作所 TOYO INK CO., LTD.
E2-11	東洋インキ(株) TOYO INK CO., LTD.
E2-12	GMGジャパン(株) GMG GmbH & Co. KG
E2-13	日本ボールドウィン(株) BALDWIN-JAPAN LTD.
E2-14	デイ・インターナショナル(株) Day International K.K.
E2-15	東京印刷機材トレーディング(株) TOKYO PRINTING & EQUIPMENT TRADING CO., LTD.
E2-16	(株)キングコーポレーション KING CORPORATION LIMITED
E2-17	日本欄置工業(株) NIHON RANKEI KOGYO CO., LTD.
E2-18	平和機械(株) Heiwa Machinery Co., Ltd.
E2-19	コンチテック エラストマー・コーティングス GmbH ContiTech Elastomer-Beschichtungen GmbH
E2-20	ウエノ(株) UENO CORPORATION
E2-21	浮田工業(株) UKITA KOGYO CO., LTD.
E2-22	(株)いわはし IWASHI CORPORATION
E2-23	ガデルリウス(株) Gadellus K.K.
E2-24	デュボン(株) Du Pont Kabushiki Kaisha
E2-25	(有)内田マシンナリー商会 UCHIDA MACHINERY Co., Ltd.
E2-26	ウェブテック(株) WEBTECH CO., LTD.
E2-27	(株)笹岡工業 SASAOKA KOGYO CO., LTD.
E2-28	(株)此花 KONOHANA CO., LTD.
E2-28	(株)大西機械 OHNISHI KIKAI CO., LTD.
E2-29	(株)マイテック Mitec corporation
E2-30	富博産業(株) TOMIHIRO INDUSTRIAL CO., LTD.
E2-31	(株)正栄機械製作所 SHOEI Machinery Mfg. Co., Ltd.
E2-32	(株)富田技研 TOMITAGIKEN CO., LTD.
E2-32	テックワリューチェーンジャパン(株) Teckwah Value Chain Japan Co., Ltd.
E2-32	(株)西岡製作所 NISHIOKA MFG. CO., LTD.
E2-32	富士機械(株) FUJI KIKAI CO., LTD.

小間番号 Booth No.	出展者 Exhibitors
-------------------	-------------------

E2-33	(株)日藤鉄工所 KUDO IRON WORKS CO., LTD.
E2-34	イトーテック(株) ITOTEC CO., LTD.
E2-35	(株)塚谷刃物製作所 TSUKATANI HAMONO MFG. CO., LTD.
E2-36	(株)サンワコーケン SANWACOKEN
E2-37	(株)太陽機械製作所 TAIYO KIKAI LTD.
E2-38	(株)勝田製作所 KATSUDA WORKS CO., LTD.
E2-39	日本オフィスラミネーター(株) JAPAN OFFICE LAMINATOR INC.
E2-40	クオード・テック日本支店 QUAD / TECH. INC.
E2-41	アイグラフィックス(株) EYE GRAPHICS CO., LTD.
E2-42	ピービーエム(株) PRINTING & BOOKBINDING MACHINE CO., LTD.
E2-51	(株)ラシュラン RUSHRUN Co., Ltd.

小間番号 Booth No.	出展者 Exhibitors
-------------------	-------------------

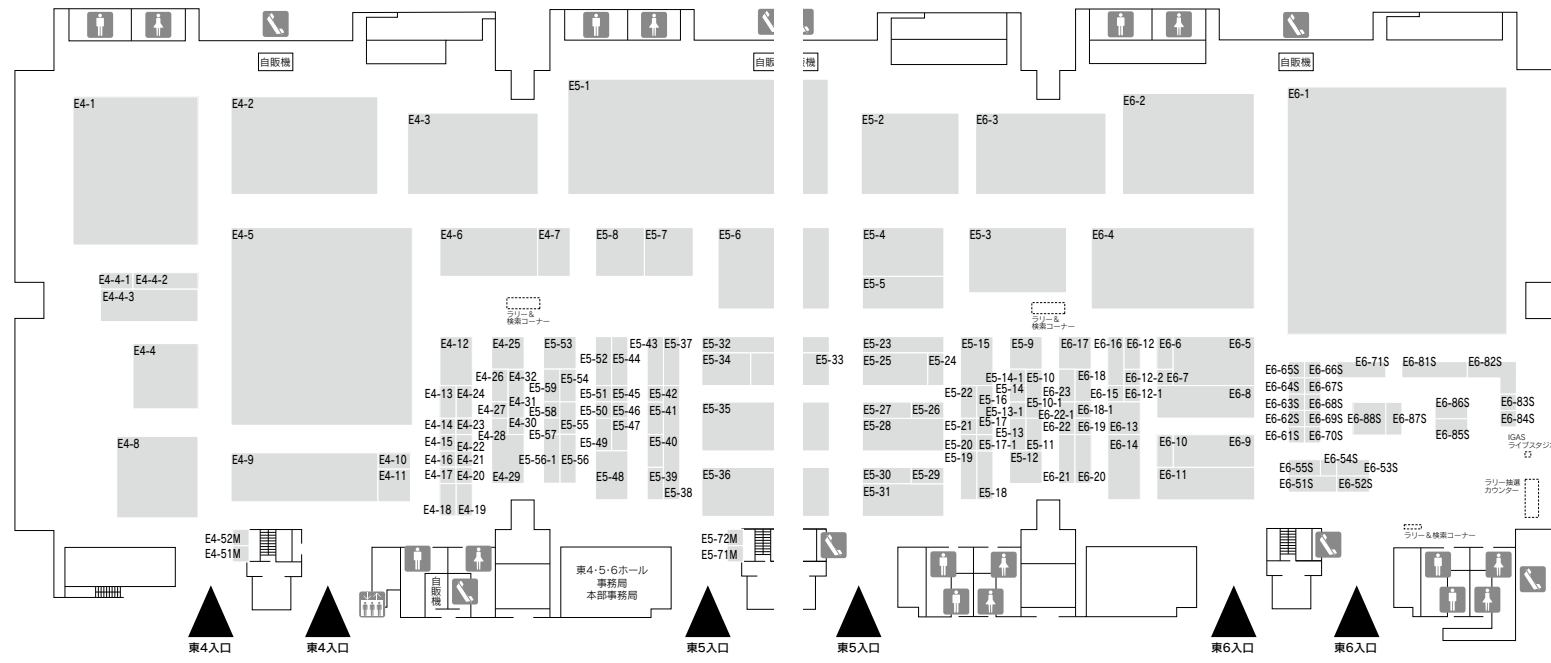
E3-1	(株)小森コーポレーション KOMORI CORPORATION
E3-2	大日本スクリーン製造(株) DAINIPPON SCREEN MFG. CO., LTD.
E3-3	エスコグラフィックス(株) Esko-Graphics Co., Ltd.
E3-4	(株)ミューテック MUTECH Co., Ltd.
E3-5	リンテック(株) LINTEC Corporation
E3-6	南精機(株) MINAMI SEIKI CO., LTD.
E3-7	久保井インキ(株) Kuboi Ink Co., Ltd.
E3-8	(株)江東錦精社 Koutoukinseisya Co., Ltd.
E3-9	藤倉ゴム工業(株) FUJIKURA RUBBER LTD.
E3-10	ビエロジャパン(株) Bielo Japan Co., Ltd.
E3-10	Photobook Technology PBT Sagl Photobook Technology PBT Sagl
E3-11	十条ケミカル(株) JUJO CHEMICAL CO., LTD.
E3-12	明和ゴム工業(株) MEIWA RUBBER CO., LTD.
E3-13	三起機械(株) SANKI MACHINERY CO., LTD.
E3-14	(株)ミタニ Mitani Co., Ltd.
E3-15	(有)テシコン TECHKON Japan Co., Ltd.
E3-16	テクノロール(株) TECHNO ROLL CO., LTD.

小間番号 Booth No.	出展者 Exhibitors
-------------------	-------------------

E3-17	兼房(株) KANEFUSA CORPORATION
E3-18	テクノトランス・アジアパシフィック・リミテッド technotrans asia-pacific limited
E3-19	(有)パシフィック化学 Pacific Chemical Co., Ltd.
E3-20	(株)金陽社 KINYOSHA CO., Ltd.
E3-20-1	加陽印刷(株) Kayo Printing Co., Ltd.
E3-21	(株)アート・ワタナベ ART WATANABE CO., LTD.
E3-22	(株)大床製作所 OTOKO MACHINERY WORKS, LTD.
E3-23	(株)エイシス ASYS CO., LTD.
E3-24	(株)セイコーアドバンス SEIKO ADVANCE LTD.
E3-25	(株)浅野研究所 ASANO LABORATORIES CO., LTD.
E3-25-1	浜松ホトニクス(株) HAMAMATSU PHOTONICS K.K.
E3-26	(株)錦精社 KINSESHA CO., LTD.
E3-27	ジェービーイー(株) JPE CO., LTD.
E3-28	(株)アルファアーク ALPHA ENGINEERING CO., LTD.
E3-28	(株)カラーステーション COLOR STATION CO., LTD.
E3-29	ローランド ディー・ジー(株) Roland DG Corporation
E3-30	フォルボ・ジークリング・ジャパン(株) Forbo Siegling Japan Ltd.
E3-31	(株)ジーイー企画センター GE KIKAKU CENTER INC.
E3-32	(株)インターテック INTERTECK CO., LTD.
E3-32	トレスジャパン(株) TRESU Japan Co., Ltd.
E3-33	(株)真砂商会 MASASAKI TEKKO CO., LTD.
E3-34	日本平版機材(株) NIPPON LITHOGRAPH. INC.
E3-35	(株)加貴ローラ製作所 KATSURA ROLLER MFG. CO., LTD.
E3-36	(株)コスモテック COSMOTECH CO., LTD.
E3-37	岩崎鉄工(株) IWASAKI TEKKO CO., LTD.
E3-38	(株)恩田製作所 Onda Mfg. Co., Ltd.
E3-39	東邦精機(株) TOHO SEIKI CO., LTD.
E3-40	日本製図器工業(株) Nihon Seizuki Kogyo Co., Ltd.
E3-41	(株)光文堂 KOBUNDO CO., LTD.

小間番号 Booth No.	出展者 Exhibitors
-------------------	-------------------

東4ホール East Hall 4	
E4-1	リヨービ(株)
E4-2	Agfa Graphics N.V.
E4-3	(株)モリサワ
E4-4	エプソン販売(株)
E4-4-1	ヘレウス(株)
E4-4-2	(株)プロスパークリエイティブ
E4-4-3	(株)ミマキエンジニアリング
E4-4-3	イー・エフ・アイ(株)
E4-5	日本ヒューレット・パッカード(株)
E4-6	ピツニーボウズジャパン(株)
E4-7	(株)モトヤ
E4-8	Masterwork Machinery Co., Ltd.
E4-9	シトマ ジャパン(株)
E4-10	島津システムソリューションズ(株)
E4-11	Beijing Kangde Xin Composite Material Co., Ltd.
E4-12	(株)コムテックス
E4-13	ウシオ電機(株)
E4-14	Beijing Shengli Weiye Printing Machinery Co., Ltd.
E4-15	Xi'an Xinda Machinery Co., Ltd.
E4-16	Xiamen Inch Films Co., Ltd.
E4-17	Shanghai UPG International Trading Co., Ltd.
E4-18	Isaberg Rapid AB
E4-19	Metalstic Co.
E4-20	(有)プリントシティ
E4-21	PLUS ALPHA ENTERPRISE CO., LTD.
E4-21	KK ENTERPRISE CO., LTD.
E4-22	四維創新材料股份有限公司
E4-23	Colorific ink
E4-24	富士通(株)
E4-25	東洋紡績(株)
E4-26	スガツネ工業(株)
E4-27	(株)帆風
E4-28	(株)堀鉄工所
E4-29	(株)エムシーケー
E4-30	IGT Testing Systems
E4-31	(株)テイク
E4-32	フジブラ(株)
E4-51M	(株)印刷出版研究所
E4-52M	ニュープリンティング(株)
E4-1	RYOBI LIMITED.
E4-2	Agfa Graphics N.V.
E4-3	Morisawa Inc.
E4-4	Epson Sales Japan Corporation
E4-4-1	Heraeus K.K.
E4-4-2	PROSPER CREATIVE CO., LTD.
E4-4-3	MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.
E4-4-3	Electronics For Imaging Inc.
E4-5	Hewlett-Packard Japan, Ltd.
E4-6	Pitney Bowes Japan Corporation
E4-7	MOTOYA Company Limited
E4-8	Masterwork Machinery Co., Ltd.
E4-9	SITMA JAPAN K.K.
E4-10	SHIMADZU SYSTEM SOLUTIONS CO., LTD.
E4-11	Beijing Kangde Xin Composite Material Co., Ltd.
E4-12	COMTECS CO., LTD.
E4-13	USHIO INC.
E4-14	Beijing Shengli Weiye Printing Machinery Co., Ltd.
E4-15	Xi'an Xinda Machinery Co., Ltd.
E4-16	Xiamen Inch Films Co., Ltd.
E4-17	Shanghai UPG International Trading Co., Ltd.
E4-18	Isaberg Rapid AB
E4-19	Metalstic Co.
E4-20	Printcity Co., Ltd.
E4-21	PLUS ALPHA ENTERPRISE CO., LTD.
E4-21	KK ENTERPRISE CO., LTD.
E4-22	AVATAACK CO., LTD.
E4-23	Colorific ink
E4-24	FUJITSU LIMITED
E4-25	TOYOBO CO., LTD.
E4-26	SUGATSUNE KOGYO CO., LTD.
E4-27	VANFU Inc.
E4-28	HORI IRON WORKS CO., LTD.
E4-29	MCK CO., LTD.
E4-30	IGT Testing Systems
E4-31	TAKE INC.
E4-32	FUJIPLA Inc.
E4-51M	Printing & Publishing Institute
E4-52M	NEW PRINTING CO., LTD.



東4ホール
East Hall 4

東5ホール
East Hall 5

東6ホール
East Hall 6

小間番号 Booth No.	出展者 Exhibitors
-------------------	-------------------

E5-18	(株)セイコーアイ・インフォテック
E5-19	光陽化学工業(株)
E5-20	スキット(株)
E5-21	(株)ジュー・フィルズ
E5-22	(株)GSユアサ
E5-23	(株)芝橋
E5-23	倉敷紡績(株)
E5-24	(株)タカノ機械製作所
E5-25	AJUHITEK INC.
E5-26	(株)ピーアンドエフ
E5-27	(株)ニレコ
E5-28	(株)T & K TOKA
E5-29	(株)中和
E5-30	方正(株)
E5-31	旭化成イーマテリアルズ(株)
E5-32	理想科学工業(株)
E5-33	(株)ピクトリコ
E5-34	(株)プリントバック
E5-35	ニッカ(株)
E5-36	DICグラフィックス(株)
E5-37	(株)東洋化学商会
E5-38	篠田商事(株)
E5-39	ベッカーエアテクノ(株)
E5-40	(株)プリンテックインターナショナル
E5-41	(株)東京製作所
E5-42	フォーレックス(株)
E5-43	オリオン機械(株)
E5-44	(株)ナカタニ
E5-44	(株)サム技研 II
E5-45	(株)エム・エル・シー
E5-45	(株)エムエルシー・テック
E5-18	Seiko Infotech Inc.
E5-19	KOYO CHEMICALS INC.
E5-20	SKIT CO., LTD.
E5-21	Jilis Co., Ltd.
E5-22	GS Yuasa International Ltd.
E5-23	Shibahashi Co., Ltd.
E5-23	KURABO INDUSTRIES LTD.
E5-24	Takano Machinery Works, Co., Ltd.
E5-25	AJUHITEK INC.
E5-26	Pepperl + Fuchs K.K.
E5-27	NIRECO CORPORATION
E5-28	T & K TOKA CO., LTD.
E5-29	CHUWA CO., LTD.
E5-30	Founder International Inc.
E5-31	ASAHI KASEI E-MATERIALS CORPORATION
E5-32	RISO KAGAKU CORPORATION
E5-33	Pictorico Co., Ltd.
E5-34	PRINTPAC INC.
E5-35	NIKKA LIMITED
E5-36	DIC Graphics Corporation
E5-37	TOYO KAGAKU SHOKAI CO., LTD.
E5-38	SHINODA & CO., LTD.
E5-39	Becker Airtechno Co., Ltd.
E5-40	Printec International, Inc.
E5-41	TOKYO SEISAKUSHO CO., LTD.
E5-42	Folex Ltd.
E5-43	ORION MACHINERY CO., LTD.
E5-44	NAKATANI CO., LTD.
E5-44	SOME GIKEN 2nd Co., Ltd.
E5-45	MLC CO., LTD.
E5-45	MLC-Tech Co., Ltd.

小間番号 Booth No.	出展者 Exhibitors
-------------------	-------------------

E5-46	(株)エス・ケイ・ワイ
E5-47	ジクス(株)
E5-48	(株)ナナオ
E5-49	ホログラムワークス(株)
E5-50	(株)シード
E5-51	アラム(株)
E5-52	グラパックジャパン(株)
E5-53	CGSJAPAN(株)
E5-54	(株)両毛システムズ
E5-55	(有)デジタルプランニングワークコア
E5-56	Erhardt+Leimer GmbH
E5-56	エアハルト ライマー ジャパン(株)
E5-56-1	富士油圧精機(株)
E5-57	(株)ムサシ
E5-57	ダイニツク(株)
E5-58	ビー・エス・シー(株)
E5-59	ニッタ(株)
E5-71M	(株)印刷学会出版部
E5-72M	(社)日本印刷技術協会
E5-46	ESU. KEI. WAI, CO., LTD.
E5-47	GICS Co., Ltd.
E5-48	EIZO NANA O CORPORATION
E5-49	HOLOGRAM WORKS Co., Ltd.
E5-50	Seed Industrial Designing Co., Ltd.
E5-51	aram Corporation
E5-52	GRAPAC JAPAN CO., INC.
E5-53	CGS Japan, Inc.
E5-54	Ryomo Systems Co., Ltd.
E5-55	Digital Planning Works Core Corporation
E5-56	Erhardt+Leimer GmbH
E5-56	Erhardt+Leimer Japan Ltd.
E5-56-1	FUJI YUATSU SEIKI CO., LTD.
E5-57	MUSASHI CO., LTD.
E5-57	DYNIC CO., LTD.
E5-58	PSC CO., LTD.
E5-59	NITTA CORPORATION
E5-71M	INSATSU GAKKAI SHUPPANBU LTD.
E5-72M	Japan Association of Graphic Arts Technology
E6-1	ハイデルベルグ・ジャパン(株)
E6-2	リコージャパン(株)
E6-2	(株)リコー
E6-3	(株)ミヤコシ
E6-4	広瀬鉄工(株)
E6-4	ダックエンジニアリング(株)
E6-4	(株)ヘルパック
E6-4	(株)木田鉄工所
E6-4	アイマー・プランニング(株)
E6-4	互応化学工業(株)
E6-1	HEIDELBERG JAPAN K.K.
E6-2	RICOH JAPAN Corporation
E6-2	RICOH Company, Ltd.
E6-3	MIYAKOSHI PRINTING MACHINERY CO., LTD.
E6-4	HIROSE IRON WORKS CO., LTD.
E6-4	DAC ENGINEERING CO., LTD.
E6-4	BELPAC CO., LTD.
E6-4	KIDA IRON WORKS CO., LTD.
E6-4	I. Mer CO., LTD.
E6-4	GOO CHEMICAL CO., LTD.

小間番号 Booth No.	出展者 Exhibitors
-------------------	-------------------

E6-5	Haosheng Printing Machinery Co., Ltd.
E6-6	(株)いけうち
E6-7	(有)ナガノ機械
E6-8	(株)エスケイ セールス
E6-9	(有)三光
E6-9	(株)ホツカツ
E6-10	福田刃物工業(株)
E6-11	(株)インターコスモス
E6-12	日本製器工業(株)
E6-12-1	DONGGUAN HUAKANG ADHESIVE FACTORY
E6-12-2	ワコン(株)
E6-13	ジェットグラフ(株)
E6-14	ヘル・グラビア・ジャパン(株)
E6-15	(株)サンライズカンパニー
E6-16	日本トレルボルグシーリングソリューションズ(株)
E6-17	アキヤマインターナショナル(株)
E6-18	(株)ゴス グラフィックシステムズ ジャパン
E6-18-1	(株)クロスリンク・パシフィック
E6-19	(株)一誠堂
E6-20	(有)デュプリン・ジャパン・リミテッド
E6-21	ビーエスエー日本(株)
E6-22	(株)ティーディーエス
E6-22-1	ムグンファ印刷
E6-23	(株)TOO
E6-51S	富士フイルム(株)
E6-52S	スターティアラボ(株)
E6-53S	(株)アスコン
E6-54S	(株)N.ジェン
E6-55S	(株)志機
E6-61S	東京電機大学 エルゴノミクスデザイン研究室
E6-62S	千葉大学大学院 融合科学研究科 情報科学専攻 北村研究室
E6-63S	産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門
E6-64S	東海大学理学部化学科 関根嘉香研究室
E6-65S	千葉大学大学院 融合科学研究科 画像マテリアルコース 小関研究室
E6-66S	東京大学大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻製紙科学研究室
E6-67S	千葉大学大学院 融合科学研究科 工学部 画像科学科 小林(裕)・青木・今泉研究室
E6-68S	東京工業大学 情報工学研究所 半那研究室
E6-69S	千葉大学大学院 融合科学研究科 画像マテリアルコース 高原研究室
E6-70S	長岡技術科学大学 システム安全工学研究室
E6-71S	東京工芸大学
E6-81S	全日本印刷工業組合連合会
E6-82S	(社)日本印刷産業連合会
E6-83S	大阪府 商工労働部
E6-84S	NPES
E6-85S	(株)メッセ・テュッセルドルフ・ジャパン
E6-86S	グローバル プリント
E6-87S	Printing Equipment Industries Association of China
E6-88S	Japan Color認証制度
E6-5	Haosheng Printing Machinery Co., Ltd.
E6-6	H.IKEUCHI & CO., LTD.
E6-7	NAGANO KIKAI CO., LTD.
E6-8	SK Sales and Service Co., Ltd.
E6-9	SANKOH CO., LTD.
E6-9	Hokkatsu Co., Ltd.
E6-10	Fukuda Hamono Kogyo
E6-11	Inter Cosmos Corporation
E6-12	Nihon Seizuki Kogyo Co., Ltd.
E6-12-1	DONGGUAN HUAKANG ADHESIVE FACTORY
E6-12-2	WACON CO., LTD.
E6-13	JetGraph Co., Ltd.
E6-14	Hell Gravure Japan Co.
E6-15	SUNRISE COMPANY LIMITED
E6-16	Trelleborg Sealing Solutions Japan k.k.
E6-17	Akiyama International Co., Ltd.
E6-18	GOSS GRAPHIC SYSTEMS JAPAN CORPORATION
E6-18-1	Cross-link Pacific, Inc.
E6-19	ISSEIDO CO., LTD.
E6-20	DEUBLIN JAPAN LIMITED
E6-21	BST Japan Ltd.
E6-22	Total Die Systems Co., Ltd.
E6-22-1	MOOKOONGHWA LABEL
E6-23	Too Corporation
E6-51S	FUJIFILM Corporation
E6-52S	STARTIALAB INC.
E6-53S	ASCAN CO., LTD.
E6-54S	N. GeN Corporation
E6-55S	SHIKI CORPORATION
E6-61S	Tokyo Denki University Ergonomic Design Laboratory.
E6-62S	Chiba University, Graduate School of Advanced Integration Science, Information & Imaging Science Div., Kitamura Laboratory
E6-63S	Research Institute for Environmental Management
E6-64S	Yoshika Sekine Laboratory, Department of Chemistry, School of Science, Tokai University
E6-65S	KOSEKI Laboratory, Image and Materials Science Course, Graduate School of Advanced Integration Science, Chiba University
E6-66S	The University of Tokyo Paper Science Laboratory Biomaterial Science Department Graduate School of Agricultural and Life Sciences
E6-67S	Chiba University, Graduate School of Advanced Integration Science, Faculty of Engineering, Department of Image Sciences
E6-68S	Hanna Laboratory, Imaging Science and Engineering Laboratory, Tokyo Institute of Technology
E6-69S	TAKAHARA Laboratory, Department of Image and Materials Science, Graduate School of Advanced Integration Science, Chiba University
E6-70S	System Safety Engineering Laboratory, Nagaka University of Technology Department of System Safety, Faculty of Management of Technology, Nagaka University of Technology
E6-71S	Tokyo Polytechnic University
E6-81S	ALL JAPAN FEDERATION OF PRINTING INDUSTRY ASSOCIATIONS
E6-82S	Japan Federation of Printing Industries (JFPI)
E6-83S	Osaka Prefectural Government
E6-84S	NPES
E6-85S	Messe Duesseldorf Japan Ltd.
E6-86S	Global Print
E6-87S	Printing Equipment Industries Association of China
E6-88S	Japan Color Certification Systems

印刷機材団体協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館401-2号室
 一般社団法人 日本印刷産業機械工業会 内

会長	小森 善治	一般社団法人日本印刷産業機械工業会
副会長	ソーレン・フェーバー・ラーセン	印刷機材輸入協議会
	渥美 守弘	プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会
	佐久間 国雄	印刷インキ工業会
	樋口 恭司	一般社団法人日本印刷産業機械工業会

事務局

代表幹事	加瀬 元禮	印刷機材団体協議会
幹事	佐藤 貞示	一般社団法人日本印刷産業機械工業会
幹事	小松原 正志	印刷インキ工業会
幹事	佐藤 麻衣子	印刷機材輸入協議会
幹事	難波 利行	プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会
事務局	二茅 孝文	株式会社印刷出版研究所
事務局	ホルガー・ヴィッティヒ	印刷機材団体協議会
事務局	広常 猛	印刷機材団体協議会
事務局	上滝 通泰	印刷機材団体協議会